



Cisco CMX ダッシュボード コンフィギュレーション ガイド

リリース 7.6
2013 年 12 月

Cisco Systems, Inc.
www.cisco.com

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト
(www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco CMX ダッシュボード コンフィギュレーション ガイド
© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



はじめに

ここでは、『Cisco CMX ダッシュボード コンフィギュレーション ガイド』の目的、対象読者、表記法、および構成について検討し、CMX Browser Engage サービスに関する一般情報を提供します。

シスコのマニュアルおよびその他の資料は、製品に同梱されている CD-ROM パッケージでご利用いただけます。Documentation CD-ROM は Cisco Connection ファミリのメンバーで、毎月更新されます。したがって、印刷されたドキュメントより最新である可能性があります。Documentation CD-ROM の追加コピーを注文するには、営業担当者にお問い合わせいただくか、カスタマー サービスまでお問い合わせください。この CD-ROM パッケージは、単独パッケージまたは年間契約で入手することができます。

目標

このマニュアルでは、CMX ダッシュボードのワークフローおよびコンポーネントについて説明し、CMX Browser Engage サービスに対応する情報を記載します。

対象読者

このマニュアルは、Cisco Unified Wireless Network を使用してモビリティ サービスを導入するユーザを主な対象としています。このマニュアルは、Cisco CMX ダッシュボードを使用するマーケティングおよび IT スタッフを対象としています。

マニュアルの構成

この章は、このマニュアルの各章の内容を示します。

表 1 マニュアルの構成

| 章 | タイトル | 説明 |
|-------|--------------|--------------------------|
| 第 1 章 | 概要 | CMX ダッシュボードの概要 |
| 第 2 章 | 前提条件 | コンフィギュレーション ガイドの前提条件 |
| 第 3 章 | 使用する前に | 設定の最初のステップ |
| 第 4 章 | アカウント管理 | CMX ダッシュボードのアカウント |
| 第 5 章 | 興味のあるポイントの管理 | CMX ダッシュボード設定での特定のロケーション |

表 1 マニュアルの構成 (続き)

| 章 | タイトル | 説明 |
|--------|--------------------------|-------------------------------|
| 第 6 章 | ナビゲーション管理 | 施設でのナビゲーション |
| 第 7 章 | バナー管理 | メッセージのタイプ |
| 第 8 章 | キャンペーン管理 | CMX ダッシュボードのバナー |
| 第 9 章 | サービス管理 | サービスおよびメッセージのタイプ |
| 第 10 章 | ブラウザ画面およびエンドユーザ エクスペリエンス | CMX ダッシュボードのランタイム動作および外観 |
| 第 11 章 | CMX ダッシュボードのレポート | サービス使用の分析 |
| 第 12 章 | CMX ダッシュボードのビジター接続 | 顧客のネットワークへのアクセス |
| 付録 A | HTTP および TCP プロキシ | HTTP トラフィック |
| 付録 B | CMX クラウド コネクタ | 分散した CMX ダッシュボード設定でのクラウド コネクタ |



(注) ページの右上隅にある、CMX ダッシュボード内の [Make a wish] メニューをクリックしてフィードバックを提供してください。機能を無効にするには、Super Admin ロールから [Visitor Connect] 操作を除外します。

コマンド構文の表記法

表 2 に、このマニュアルのコマンドで使用される構文を示しています。

表 2 コマンド構文ガイド

| 表記法 | 説明 |
|-----------------|--|
| 太字 | コマンドおよびキーワード。 |
| イタリック体 | ユーザによるコマンド入力 |
| [] | 角カッコ内の要素は、省略可能です。 |
| { x x x } | 選択すべきキーワード (x の部分) は、波カッコで囲み、縦棒で区切って表します。いずれか 1 つを必ず選択します。 |
| ^ または Ctrl | Ctrl キーを表します。たとえば、^D または Ctrl-D と表記されている場合、Ctrl キーを押さえながら D キーを押します。 |
| screen フォント | 画面に表示される情報の例を表します。 |
| 太字の screen フォント | 入力が必要な情報の例 |
| < > | パスワードのように、出力されない文字は、かぎカッコ (<>) で囲んで示しています。 |
| [] | システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。 |



CHAPTER 1**概要 1-1**

- コネクテッド モバイル エクスペリエンス 1-1
- CMX エンゲージ 1-2
- CMX Browser Engage および CMX ダッシュボード 1-2
- シスコ ワイヤレス コンポーネント 1-3
 - PI - MSE - CMX ダッシュボード接続 1-4
- CMX ダッシュボードのワークフロー 1-5
- CMX ダッシュボード コンポーネント 1-5
 - アカウントとロール 1-5
 - キャンペーン 1-6
 - バナー 1-6
 - POI 管理 1-7
 - 外観 1-7
- サービス 1-7
 - ハイパーローカル検索 1-8
 - Find Me 1-8
 - ディール 1-8
- レポート 1-9

CHAPTER 2**使用する前に 2-1**

- Prime Infrastructure へのモビリティ サービス エンジンの追加 2-1
- Mobility Services Engine での CMX ダッシュボード サービスの有効化 2-3
- Mobility Services Engine のプロキシ サーバの有効化 2-3
- CMX ダッシュボード ユーザ インターフェイスへのログイン 2-3

CHAPTER 3**アカウント管理 3-1**

- アカウントの作成 3-1
- アカウントの削除 3-2
- アカウントのアクティブ化 3-2
- アカウントの非アクティブ化 3-2
- ロール、ドメイン、およびサーバの設定 3-3
 - ロール 3-3
 - ドメイン 3-3

サーバの設定 3-4

CHAPTER 4

興味のあるポイントの管理 4-1

興味のあるポイントの追加 4-1

フロア マップの更新 4-3

フロア マップの削除 4-3

CHAPTER 5

ナビゲーション管理 5-1

ナビゲーション ポイントの作成 5-1

CHAPTER 6

バナー管理 6-1

ウェルカム 6-1

オファーまたはディール 6-3

スポンサーシップ 6-4

アドバタイズメント 6-4

メッセージのタイプの違い 6-5

CHAPTER 7

キャンペーン管理 7-1

Web バナー 7-1

キャンペーンの作成 7-1

キャンペーンへのバナーの割り当て 7-2

既存バナーの編集 7-3

バナーの削除 7-3

既存バナーのプレビュー 7-4

バナーの検索 7-4

CHAPTER 8

サービス管理 8-1

ハイパーローカル検索 8-1

ハイパーローカル検索の外観の編集 8-2

マップ 8-2

マップの外観の編集 8-2

ディール 8-3

ディールの外観の編集 8-3

CHAPTER 9

ブラウザ画面およびエンド ユーザ エクスペリエンス 9-1

ブラウザの表示 9-1

アイコンまたは画像 9-2

| | |
|---------------------------|-----|
| UI テンプレート | 9-4 |
| アニメーション | 9-5 |
| サービスの外観の設定 | 9-5 |
| アニメーションの外観の設定 | 9-7 |
| エンドユーザ エクスペリエンス | 9-7 |
| Make a Wish | 9-8 |
| ブラウザおよびオペレーティング システムのサポート | 9-8 |

CHAPTER 11**CMX ダッシュボードのレポート 11-1**

| | |
|------|------|
| レポート | 11-1 |
| 要約 | 11-7 |

CHAPTER 11**CMX ダッシュボードのビジター接続 11-1**

| | |
|---|-------|
| キャプティブ ポータルとしてのビジター接続 | 11-1 |
| CMX ビジター接続をセットアップするためのワークフロー | 11-2 |
| CMX ビジター接続の前提条件 | 11-2 |
| テンプレート フィールド | 11-8 |
| スプラッシュ テンプレート フィールドの作成 | 11-9 |
| スプラッシュ テンプレート フィールドの編集 | 11-9 |
| スプラッシュ テンプレート フィールドの削除 | 11-9 |
| ソーシャル コネクタ | 11-9 |
| ソーシャル コネクタの設定 | 11-10 |
| ソーシャル コネクタの編集 | 11-10 |
| ソーシャル コネクタの削除 | 11-10 |
| スプラッシュ テンプレート | 11-11 |
| スプラッシュ テンプレートの作成 | 11-11 |
| 関心のあるポイントまたはフロアへのスプラッシュ ページ テンプレートの割り当て | 11-12 |
| ビジター接続のレポート | 11-13 |
| ビジターの詳細の監視 | 11-13 |
| HTTP フロー | A-1 |
| HTTP プロキシ サービス | A-2 |
| 展開タイプ | A-2 |
| MSE の設定 | A-2 |
| MSE のコンソールでの DNS およびデフォルト ドメイン名の有効化 | A-3 |
| CMX ダッシュボード コネクタの前提条件 | B-1 |
| CMX ダッシュボード コネクタ | B-2 |
| 初期設定 | B-3 |

Web ベース管理 UI B-3
CMX ダッシュボード コネクタの設定 B-4
 コネクタ B-4
 HTTP プロキシ B-6
 システム情報 B-7



概要

この章では、Cisco コネクテッド モバイル エクスペリエンス (CMX) の概念および CMX サービスの管理と構成に使用する CMX ダッシュボードの概念を紹介します。

コネクテッド モバイル エクスペリエンス

Cisco コネクテッド モバイル エクスペリエンス (CMX) では、組織がその施設内にいるエンド ユーザや顧客の検出、接続、およびエンゲージを行うことができます。

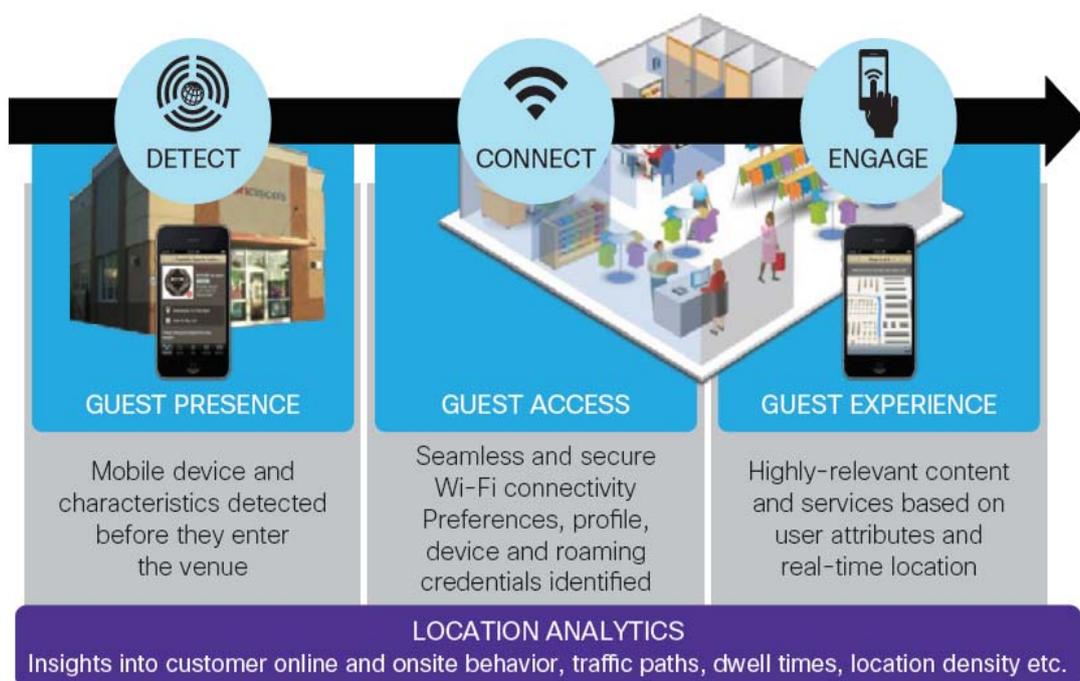
- 検出：顧客が組織の施設に近づいてくると、顧客のモバイル デバイスからワイヤレス信号およびデバイスの特性が検出されます。
- 接続：顧客は利用可能な Wi-Fi アクセスおよびサービスの通知を受信した後で、安全に接続できます。
- エンゲージ：顧客からのアクセスがあると、それらの顧客をパーソナライズされたコンテンツにエンゲージすることができます。この双方向通信を通じて、顧客との、リアルタイムで付加価値のある関係を構築できます。

次に、CMX ソリューションの利点を示します。

- IT のコスト センターからエンドユーザ サービスのプラットフォームへの Wi-Fi の移行。
- パーソナライズされた関連コンテンツを提供することにより、顧客との親密性を強化。
- サードパーティが対象のモバイル アドバタイジングにより、新しい収益を創出。
- トラフィック フローを使用して、製品やサービスの配置の改善、顧客へのサービス向上のためのフロア レイアウトの調整、およびトラフィックや時間帯に応じたサービス ロケーションへの配属を行うことにより、施設の効率性を改善。

次の図は、このプロセスの概要を示します。

図 1-1 検出、接続、およびエンゲージ



351584

CMX エンゲージ

エンゲージは、モバイルデバイス上の異なる媒体を介して組織がユーザと通信することを可能にします。これには、次のものが含まれます。

- アプリケーション エンゲージ：ロケーション対応アプリケーションは、屋内のマップやナビゲーション、およびパーソナライズされたロケーション固有の通知などの機能を持たせることができます。また、シスコの **ecosystem** パートナーがロケーションベースのアプリケーションを開発することを可能にするモビリティ サービス API が含まれています。
- ブラウザ エンゲージ：ロケーションおよびコンテキスト対応のブラウザ バナー通知、メニュー項目、および検索機能。
- デバイス エンゲージ：デバイス上にあるロケーション対応のサービス検索で、アプリケーションまたは Web の機能にかかわらず、組織がユーザと通信することを可能にします。この機能は、Qualcomm Snapdragon チップセットを持つデバイスで使用できます。

CMX Browser Engage および CMX ダッシュボード

シスコの **CMX Browser Engage** は、ブラウザ エンゲージメントにより施設内におけるエクスペリエンスを変革する新しい方法です。これによって、組織はオプトイン モバイル ユーザ、つまり買い物客、ゲスト、ビジターとモバイル ブラウザを介して通信できるようになります。

CMX ダッシュボードは、管理ユーザが CMX ブラウザ エンゲージ エクスペリエンスを管理するために設計されたバック エンド ツールです。これによって管理ユーザはコンテンツ対応検索だけでなく施設に特化したメニュー、バナー、およびアイコンを設定できます。

このマニュアルでは、CMX Browser Engage サービスを設定および管理する CMX ダッシュボードの使用について説明します。

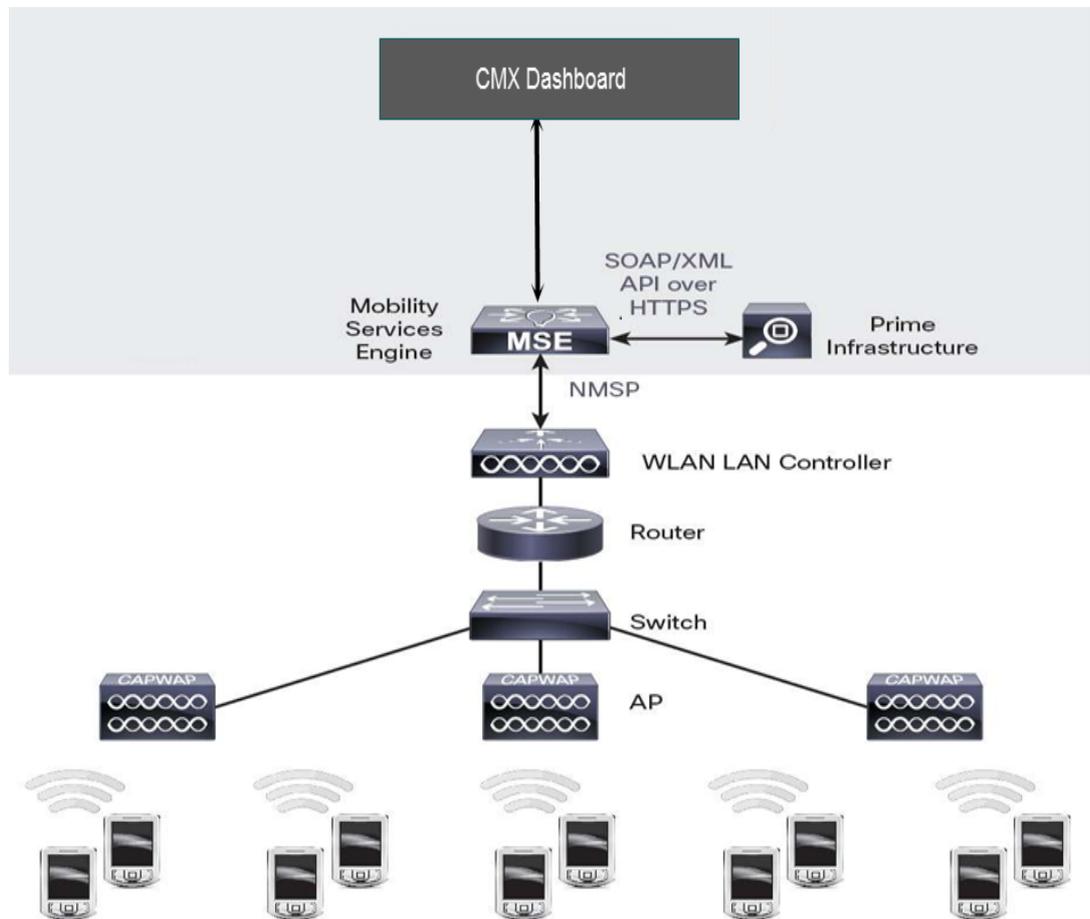
シスコ ワイヤレス コンポーネント

シスコ ワイヤレスは、従業員の生産性の向上、コラボレーションの強化、および顧客への対応を改善するワイヤレス ソリューションとして設計されています。シスコ ワイヤレスはユニファイド ネットワークです。これは、大企業および商用ワイヤレス LAN ユーザが直面するセキュリティ、導入、管理、および制御の問題に対応します。

次にユニファイド ネットワークのコンポーネントを示します。

- **Cisco Prime Infrastructure (PI)** : Cisco Prime Network Control System (NCS) のワイヤレス機能と Cisco Prime LAN Management Solution (LMS) の有線機能を組み合せます。
- **Cisco ワイヤレス LAN コントローラ** : ビジネス クラスの WLAN を効果的および確実に管理するために必要なものを可視化しネットワーク管理者が制御できるようにし、Mobility Services Engine を使って作業できるようにします。
- **アクセス ポイント (AP)** : ワイヤレス デバイスを有線ネットワークに接続し、ユビキタスなネットワーク アクセスを提供します。
- **Mobility Services Engine (MSE)** : ネットワーク上のさまざまな場所にあるインテリジェンスを統合して、ビジネス モビリティ アプリケーションの提供を実現して最適化する、一連の付加価値ネットワーク サービス。

図 1-2 PI - MSE - CMX ダッシュボードの概要



PI - MSE - CMX ダッシュボード接続

管理ユーザは PI 1.4 を使用している MSE で CMX Browser Engage とプロキシ サービスを有効にする必要があります。



(注)

サービスを有効にするには、ドメイン名および少なくとも 1 つの DNS IP アドレスが MSE で設定されている必要があります。CMX ダッシュボードを使用するには PI が導入されている必要があります。

管理ユーザがプロキシ サービスに CMX Browser Engage サーバ情報を提供します。管理ユーザが CMX Browser Engage サーバにロケーション MSE 情報を提供します。

管理ユーザは [Save] をクリックします。ロケーション PI/MSE によって管理されるすべてのキャンパス、ビルディング、およびフロアの情報がフロア画像と寸法とともに CMX Browser Engage サーバに送信されます。

バック エンド ツール CMX ダッシュボードにアクセスするには、次の詳細情報を使用します。

URL は `http://<MSE_IP_address>:8081/Mario` です。デフォルトのユーザ名とパスワードは、それぞれ `admin` と `admin` です。

CMX ダッシュボードのワークフロー

ここでは、CMX ダッシュボードの高度な設定手順の概要およびこのマニュアルのフローを示します。次は、CMX ダッシュボードのワークフローです。



(注)

次の操作フローは、管理ユーザが PI を設定し、MSE が追加され、マップが同期されたという条件に基づいています。

- ステップ 1** CMX ダッシュボードにログインし、マップが興味のあるポイントのメニューで更新されていることを確認します。この手順は、「興味のあるポイントの管理」および「アカウント管理」の章で詳しく説明しています。
- ステップ 2** 次に表示バナーを作成します。バナーは、ウェルカム メッセージ、オファーまたはディール、スポンサーシップ、アドバタイズメントのタイプのいずれかです。表示する画像をアップロードし、施設の製品/サービスのキーワードを追加し、バナーをアクティブにします。この手順は、「バナー管理」で詳しく説明しています。
- ステップ 3** 新しいキャンペーンを作成し、容易に検索できるように説明およびキーワードを追加します。この手順は、「キャンペーン管理」で詳しく説明しています。
- ステップ 4** バナーとキャンペーンの作成後に、管理ユーザとしてロゴおよびアニメーションを選択してサービスツールバーの外観をカスタマイズできます。CMX ダッシュボードでは、異なる画面サイズのモバイルデバイス上のツールバーをプレビューすることができます。この手順は、「サービス管理」および「ブラウザ画面およびエンドユーザエクスペリエンス」で詳しく説明します。

CMX ダッシュボード コンポーネント

次に、CMX Browser Engage のコンポーネントを示します。

アカウントとロール

[Accounts] タブを使用して管理ユーザは一連のアカウントおよびアカウントごとに複数のユーザを定義することができます。

たとえばショッピングセンターの場合、管理ユーザは店舗ごとにアカウントを作成するために [Account] > [Create New Account] に移動できます。

各アカウントに関連付けられたキーワードがあり、エンドユーザがこれらのキーワードで検索すると店舗を見つけやすくなります。

アカウント情報は、施設でのナビゲーションを簡単にするのに役立ちます。

CMX ダッシュボードでは、Account Admin、Marketing Admin、および Super Admin などのロールの作成と割り当てを行うこともできます。管理ユーザは、各ロールにタスクを割り当てることができます。

たとえば、管理ユーザは [Settings] > [Roles] に移動してキャンペーン アプルーバ、バナー アプルーバ、およびレポートなどのタスクを他のユーザに割り当てることができます。

キャンペーン

管理ユーザは、特定のロケーションのキャンペーンを作成して、オファー、ディール、スポンサーシップ、アドバタイズメント、およびウェルカム メッセージにキャンペーンを割り当てることができます。

キャンペーン管理では、使用可能なバナーを選択し、各バナー タイプにいくつかのルールを持たせることができます。

たとえば、[Campaigns] > [Create New Campaign] に移動し、アカウント、アクティブな期間、およびその他のルールを指定できます。

キャンペーン管理では、特定キャンペーンを管理、編集、および削除できます。

バナー

バナーは顧客のモバイル デバイスのブラウザに表示可能なメッセージです。

メッセージには、ウェルカム メッセージ、オファー、ディール、スポンサーシップ、およびアドバタイズメントがあります。管理ユーザは、特定のバナーのルールと表示のタイプを設定できます。

たとえば、[Banners] > [Create New Banner] に移動し、テキスト、画像、タイプ、およびターゲット URL などの詳細とともにバナーを設定できます。

ユーザが [CMX Browser Engage] アイコンをクリックするたびにウェルカム メッセージを表示するか、最初にユーザを検出したときにだけ表示するかを選択できます。

バナー管理では、バナーをアクティブにしたり非アクティブにしたりできます。

バナー管理の利点は、ロイヤルティに基づいたオファーまたはディールを提供するよう選択できることです。顧客が特定の興味のあるポイントで多くの時間を費やしている場合、特別なオファーを設けることができます。

POI 管理

興味のあるポイント (POI) 管理では、ロケーション MSE から取得されるキャンパス、ビルディング、フロア/ゾーンすべての情報を表示できます。

PI 上でフロア寸法またはマップ画像に変更がある場合は、POI のサブメニューの [Update Floor Maps] 機能を使用して手動で情報を更新する必要があります。

フロア マップで使用できるツールを使用して、任意の追加 POI をフロアに追加できます。

たとえば、[Points of Interest] > [System Campus] > [Floor] > [Add Point of Interest] に移動し、サービス カテゴリ、キーワード、および画像などの特定の情報を持つ POI を設定できます。

外観

顧客のモバイル デバイスのバナーの外観を設定できます。

表示をカスタマイズするには、[Appearance] をクリックします。

ツールバーおよび CMX Browser Engage アイコンをどのように表示するかを定義できます。また、エンド デバイスに表示されるデフォルトのアイコンを定義できます。

次に、重要なパラメータを示します。

- [Display] : CMX Browser Engage ツールバーを常時展開するか、ユーザがアイコンをクリックしたときだけにするかを定義します。
- [Position] : アイコンまたはツールバーを最上部または最下部にのどちらに表示するかを定義します。
- [Exceptions] : URL がその場所に指定されている場合を除き、[Position] で定義したとおりにアイコンまたはツールバーを最上部または最下部に表示します。
- [Banner display time] : バナーを更新する間隔。
- [Default Logo] : 顧客のモバイル デバイスに表示されるデフォルトのロゴまたはアイコン
- [Animations tab] : ロゴ表示の方法と効果。

上述した基本パラメータを設定すると、サービスを提供できる状態になります。

サービス

施設での顧客との対話には 2 つの方法があります。上のセクションで述べたようにメッセージを使用できます。

別の重要な方法はサービスを提供することです。これは、顧客を施設に引き寄せる付加価値の提供です。その名前が示すように、CMX Browser Engage はショッピング エクスペリエンスを充実したものにする役割を果たし、顧客の満足度とロイヤルティを確立できるものです。

CMX Browser Engage は、ハイパーローカル検索、「Find me」、およびディールなどの有効なサービスを提供します。

ハイパーローカル検索

このサービスは、施設の顧客にとって有用です。CMX Browser Engage ツールバーにプリロードされた検索アイコンがあり、これが顧客のモバイル デバイスに表示されます。

管理ユーザは、店舗およびディールのデータベースを保存できます。

たとえば、顧客は店舗、セールス ディール、製品、およびディスカウント クーポンをハイパーローカル検索で見つけることができます。顧客は検索フィールドにキーワードを入力する必要があり、近くの利用可能な興味のあるポイントの位置が結果として表示されます。

Find Me

これは施設でさまざまな場所へ行くために役立つサービスです。

顧客が CMX Browser Engage ツールバーに表示される [Map] アイコンをクリックすると、顧客の現在のロケーションを示す青いドットとともにフロア マップが表示されます。

顧客は特定の項目ですべての店舗を検索でき、その項目がマップ上にドット形式で表示されます。

そうすると、顧客は特定の店舗をクリックして行き方を探すことができます。この情報を提供するには、管理者はアイコンを使用してマップ上でフロアのナビゲーションおよび店舗のプロットを設定する必要があります。

たとえば、食料品を検索するには、顧客はキーワードとして食料品を入力する必要があり、その後食料品店が表示されます。

清掃、改装、またはその他のメンテナンス作業のために閉鎖されるゾーンがあり顧客が利用できない場合、このような情報を顧客にアップロードできます。

ディール

施設のオーナーまたは店舗は各種製品のさまざまなディールを決定し、これらを顧客に送信できます。

管理ユーザはディールのデータを更新する必要があります。特定の時間に限定されたプロモーションおよびセールス オファーとしてディールを設定できます。

CMX Browser Engage ツールバーに表示されるアイコンは、ディールのサービスを示します。これには施設のすべてのディールが含まれます。顧客がアイコンをクリックすると特定のディールの詳細がすべて表示されます。

たとえば、店舗が履物の販売価格の割引を提供する場合、そうしたディールを準備すると、対応するアイコンが CMX Browser Engage ツールバー上に表示されます。

レポート

CMX Browser Engage および提供サービスを設定した後、管理ユーザはサービスおよびメッセージのパフォーマンス情報を必要とします。

CMX ダッシュボードでは、分析のためにさまざまなレポートを抽出できます。レポートを使用すると、サービスの実際の利用状況および顧客の行動を調査できます。

追加メリットは広告代理店および消費財企業に顧客データを販売できる可能性があることです。

たとえば、[Reports] をクリックして、時間、日、週、または月などの特定の期間のサービスおよびメッセージのパフォーマンスを表示できます。

CMX ビジターの接続を使用してビジターのトレンドを調査できます。



使用する前に

この章では、システム要件および Prime Infrastructure および CMX ダッシュボードで Cisco Mobility Services Engine (MSE) を開始する方法を説明します。



(注) 設定についての情報については、『Cisco Prime Infrastructure Quick Start Guide』を参照してください。

Prime Infrastructure へのモビリティ サービス エンジンの追加

[Mobility Service] ページの [Add Mobility Services Engine] ダイアログボックスを使用して MSE を追加できます。このダイアログボックスでは、ライセンス ファイルと追跡パラメータを追加し、マップを MSE に割り当てることができます。設定のために既存の MSE でウィザードを起動する場合、[Add MSE] オプションの代わりに [Edit MSE Details] として表示されます。



ヒント

Cisco Adaptive wIPS 機能の詳細については、Cisco.com にアクセスして、マルチメディア プレゼンテーションをご覧ください。



(注)

Prime Infrastructure リリース 1.4 は MSE 3355 を認識し、適切にサポートしています。

Mobility Services Engine を Prime Infrastructure に追加するには、Prime Infrastructure にログインし、次の手順を実行します。



(注)

[Services] > [Mobility Services Engine] ページは、リリース 7.3.101.0 の仮想ドメインでのみ使用可能

設定時にユーザ名とパスワードを指定しなかった場合は、デフォルトを使用します。

デフォルトのユーザ名とパスワードはどちらも *admin* です。

ステップ 1 モビリティ サービス エンジンに対して ping を実行できることを確認します。

ステップ 2 [Services] > [Mobility Services] を選択し、[Mobility Services] ページを表示します。

- ステップ 3** [Select a command] ドロップダウン リストから、[Add Mobility Services Engine] を選択し、[Go] をクリックします。
- ステップ 4** [Device Name] テキスト ボックスに、モビリティ サービス エンジンの名前を入力します。
- ステップ 5** [IP Address] テキスト ボックスに、モビリティ サービス エンジンの IP アドレスを入力します。
- ステップ 6** (任意) [Contact Name] テキスト ボックスに、モビリティ サービス エンジン管理者の名前を入力します。
- ステップ 7** [User Name] および [Password] テキスト ボックスに、モビリティ サービス エンジンのユーザ名とパスワードを入力します。これは、設定時に作成された Prime Infrastructure 通信ユーザ名とパスワードです。



(注)

自動インストール スクリプトの実行中にユーザ名とパスワードを変更した場合は、変更後の値をここに入力してください。デフォルト パスワードを変更しなかった場合は、自動インストール スクリプトを再実行してユーザ名とパスワードを変更することを推奨します。

- ステップ 8** [HTTP] チェックボックスをオンにして、モビリティ サービス エンジンとサードパーティ アプリケーションの間の通信を許可します。デフォルトでは、Prime Infrastructure は MSE との通信に HTTPS を使用します。
- ステップ 9** MSE からすべてのサービス割り当てを永久に削除するには、[Delete synchronized service assignments] チェックボックスをオンにします。このオプションは、ネットワーク設計、有線スイッチ、コントローラ、およびイベント定義に適用されます。既存のロケーション履歴データは維持されますが、今後ロケーション計算を実行するときには手動サービス割り当てを使用する必要があります。
- ステップ 10** [Next] をクリックします。Prime Infrastructure により、選択されている要素と MSE が自動的に同期されます。
- ステップ 11** 同期完了後、[MSE License Summary] ページが表示されます。[MSE License Summary] ページから、ライセンスのインストール、ライセンスの追加、ライセンスの削除、アクティベーション ライセンスのインストール、サービス ライセンスのインストールを実行します。[Select Mobility Service] ページが表示されます。
- ステップ 12** MSE 上のサービスを有効にするには、サービスの横にあるチェックボックスをオンにします。サービスには Context-Aware Service および wIPS が含まれます。
[CMX Dashboard Service] および [HTTP Proxy Service] を選択してサービスを有効にします。
CAS を選択すると、クライアント、不正アクセス ポイント、干渉、有線クライアント、およびタグを追跡できます。
タグを追跡するために、[Partner Tag Engine] を選択します。

- ステップ 13** [Save] をクリックします。
新しいモビリティ サービス エンジンを追加すると、Prime Infrastructure を使用して、ネットワーク設計 (キャンパス、ビルディング、および屋外マップ)、コントローラ、スイッチ (Catalyst シリーズ 3000 のみ)、およびローカル モビリティ サービス エンジンのイベント グループを同期できます。この同期は、新しいモビリティ サービス エンジンを追加した直後、または後で実行できます。ローカル データベースと Prime Infrastructure データベースを同期するには、「Synchronizing Mobility Services Engines」を参照してください。

Mobility Services Engine での CMX ダッシュボード サービスの有効化

CMX Browser Engage とダッシュボードを有効にするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [Services] > [Mobility Services Engine] の順に選択します。[Mobility Services Engine] ページが表示されます。
- ステップ 2 [Mobility Services] ページで、[Device Name] をクリックしてプロパティを設定します。
- ステップ 3 [CMX Dashboard service] の横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4 [Save] をクリックします。
- ステップ 5 [Done] をクリックして設定を保存します。

Mobility Services Engine のプロキシ サーバの有効化

プロキシ サーバを有効にするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 [Services] > [Mobility Services Engine] の順に選択します。[Mobility Services Engine] ページが表示されます。
- ステップ 2 [Mobility Services] ページで、[Device Name] をクリックしてプロパティを設定します。
- ステップ 3 [Proxy Service] の横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4 [Save] をクリックします。
- ステップ 5 この設定を保存するには、[Done] をクリックします。

CMX ダッシュボード ユーザ インターフェイスへのログイン

CMX ダッシュボードおよびプロキシ サービスを設定するには、Prime Infrastructure で次を実行します。

- ステップ 1 [Mobile Concierge Service] > [CMX Dashboard] を選択します。CMX ダッシュボード MSE がマップ およびロケーション データを取得するロケーション MSE を選択します。これは同じ MSE であることも異なる MSE であることもあります。
- ステップ 2 [Mobile Concierge Service] > [Proxy Configuration] を選択します。エンド デバイスにバナー情報を提供する CMX ダッシュボード MSE を選択します。CMX ダッシュボード MSE はこのプロキシ MSE から提供されます。

Web ブラウザを通じて CMX ダッシュボード ユーザ インターフェイスにログインするには、次の手順を実行してください。

- ステップ 1 Web ブラウザに <https://mseip/dashboard/> と入力します。

■ CMX ダッシュボード ユーザーインターフェイスへのログイン

ステップ 2 admin をデフォルトのユーザ名に入力します。

ステップ 3 admin をデフォルトのパスワードに入力します。



(注) デフォルトのパスワードを変更するには、右上隅にある [My Account] をクリックします。新しいパスワードを入力および再入力し、[Submit] をクリックします。



アカウント管理

CMX ダッシュボードでは製品またはサービスを基にアカウントを作成し割り当てることができます。アカウントは、CMX ダッシュボードからパブリッシュされるコンテンツを所有するエンティティです。アカウントにはビュー、特定のメッセージのクリック回数、およびサービスなどのすべてのイベントの情報が含まれます。

アカウント管理では、アカウントとユーザの異なるセットを定義および設定できます。アカウントのユーザにはロールに固有の機能権限を持つロールが与えられます。

CMX ダッシュボードの管理者は店舗用アカウントを作成できます。顧客は、各アカウントに関連付けられたキーワードを使用して店舗を検索できます。アカウント情報は、フロアのナビゲーションで店舗をプロットする際に使用されます。

アカウントの作成

新規アカウントを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Accounts] を選択します。
- ステップ 2** [Create New Account] をクリックします。[Add/Edit Account] および [Address] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** [Add/Edit Account] グループ ボックスで、次を実行します。
 - [Account Name:*] テキスト ボックスにアカウント名を入力します。
 - アカウントのロゴをアップロードするには [Click to upload a Logo] をクリックします。[File Upload] ダイアログボックスから画像ファイルを特定し、[Open] をクリックします。
 - [Account Description*] テキスト ボックスに、アカウントの説明を入力します。
 - [Keyword*] テキスト ボックスに、作成するアカウントに関するキーワードを入力します。これらのキーワードは、顧客がモバイル デバイスのブラウザで検索するときに店舗を容易に見つけるのに役立ちます。
- ステップ 4** [Address] グループ ボックスで、次の手順を実行します。
 - [Email*] テキスト ボックスにアカウントの電子メール アドレスを入力します。
 - [Website URL*] テキスト ボックスにアカウントの URL を入力します。
 - [Phone*] テキスト ボックスに、アカウントの電話番号を入力します。
 - [Street Line 1*] および [Street Line 2*] テキスト ボックスに、アカウントの住所を入力します。
 - [City*] テキスト ボックスに、市町村名を入力します。

- [State*] テキスト ボックスに、都道府県名を入力します。
- [Zip Code*] テキスト ボックスに郵便番号を入力します。

ステップ 5 [Submit] をクリックします。

アカウントの削除

新しいアカウントを削除するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Accounts] を選択します。CMX ダッシュボード データベースのすべてのアカウントを表示するには、[All] をクリックします。[All Accounts] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 2** [Active Accounts] グループ ボックスで、削除するアカウントを選択します。
- ステップ 3** [Delete] をクリックします。

アカウントのアクティブ化

アクティブ アカウントをアクティブにするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Accounts] を選択します。CMX ダッシュボード データベースのすべてのアカウントを表示するには、[Inactive] をクリックします。[Inactive Accounts] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 2** [Inactive Accounts] グループ ボックスで、再度アクティブ化するアカウントを選択します。
- ステップ 3** [Make Active] をクリックします。

アカウントの非アクティブ化

アクティブ アカウントを非アクティブにするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Accounts] を選択します。CMX ダッシュボード データベースのすべてのアカウントを表示するには、[Active] をクリックします。[Active Accounts] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 2** [Active Accounts] グループ ボックスで、削除するアカウントを選択します。
[Make Inactive] をクリックします。

ロール、ドメイン、およびサーバの設定

CMX ダッシュボードの UI は、ロール、ドメイン設定、およびサーバ設定を構成する機能を提供します。

ロール

ロールを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Settings] を選択します。[Roles] をクリックします。
- ステップ 2** [Create New Role] をクリックします。[Select Operations] ボックスが表示されます。
- ステップ 3** [Name:] テキスト ボックスにロール カテゴリの名前を入力します。
- ステップ 4** [Display Name:] に画面に表示する名前を入力します。
- ステップ 5** [Available Operations] および [Existing Operations] からロールを選択して変更します。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。
- ステップ 7** ロールを編集するには、[Settings] を選択して [Roles] をクリックすると表示されるリストでロールをクリックします。
- ステップ 8** [Edit] をクリックします。操作を変更し、[OK] をクリックします。
- ステップ 9** ロールを削除するには、[Settings] を選択して [Roles] をクリックすると表示されるリストでロールをクリックします。
- ステップ 10** [Delete] をクリックします。
- ステップ 11** [Delete Confirmation] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

ドメイン

ドメインを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Settings] を選択します。[Domain Setup] をクリックします。
- ステップ 2** [Create New Domain] をクリックします。[Add/Edit Domain] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** [Domain Name:] にドメインの名前を入力します。

(注) キー値に興味のあるポイントに追加する前に、Web ページまたはドメインにキー値のマッピングを設定する必要があります。
- ステップ 4** [Domain URL:] にドメインの URL を入力します。

(注) http:// は使用しないでください
- ステップ 5** [Key Handlers:] にキーワードを入力します。



(注) キー ハンドラが複数ある場合はコンマで区切って入力します。

- ステップ 6 [Submit] をクリックします。
- ステップ 7 ドメインを編集または削除するには、[Settings] を選択して [Domain Setup] をクリックすると [Domain Setups] グループ ボックスに表示されるリストのドメインをクリックします。
- ステップ 8 [OK] をクリックします。

サーバの設定

サーバのパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから [Settings] を選択します。[Server Settings] をクリックします。
- ステップ 2 [Location Resolver:] でデフォルトまたは MSE を選択します。
- ステップ 3 [Location Resolver Stale Time:] に時間を秒単位で入力します。
- ステップ 4 [Campaign Cache Refresh Frequency:] に時間を時間単位で入力します。
- ステップ 5 [Campaign Cache DB sync time:] に時間を秒単位で入力します。
- ステップ 6 [Index refresh time:] に時間を秒単位で入力します。
- ステップ 7 [Reports data retention time:] にデータを保持する日数を入力します。
- ステップ 8 [Default location ID:] にロケーションの ID を入力します。
- ステップ 9 [Banner welcome delay:] に時間を秒単位で入力します。
- ステップ 10 [BBX Statistic collectors] でデータの収集機能を選択します。



(注) デフォルトのロゴはシスコのロゴです。

- ステップ 11 [Save] をクリックします。



興味のあるポイントの管理

興味のあるポイント（POI）は製品またはサービスが利用可能な施設内の特定のロケーションです。CMX ダッシュボード ユーザー インターフェイスを使用すると、特定のゾーンを強調表示するさまざまな POI を作成できます。

キャンパス、ビルディング、またはフロアのマップおよびロケーション データは Prime Infrastructure にアップロードされ、ロケーション MSE と同期されます。CMX ダッシュボードではこれらのマップを表示します。

[Points of Interest] メニューの [Update Floor Maps] をクリックして、CMX ダッシュボード内のマップを更新できます。

管理者は、ロケーション固有のメッセージ、オファー、およびディールを使用するために施設内にゾーンを作成できます。

CMX ダッシュボードの UI に興味のあるポイントを作成するためにマップ上の特定の領域をマーキングできます。

興味のあるポイントの追加

興味のあるポイントを追加または更新するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから、[Points of Interest] を選択します。
- ステップ 2** [PointOfInterests] の左側にある右側のペインの中の白い三角形のアイコンをクリックします。
- ステップ 3** [System Campus] の左側にある右側のペインの中の白い三角形のアイコンをクリックします。
- ステップ 4** 施設の名前の左側にある右側のペインの中の白い三角形のアイコンをクリックします。
- ステップ 5** 右側のペインに [Add/ Update Point of Interest] グループ ボックスが表示されます。

図 4-1 Add/Edit POI

Add/Update Point of Interest

Name: *

Description:

Service Categories:

Domain Mapping:

Splash Template:

Tags / Keywords:

Choose Image: **Click to upload a Logo**
 **Click or drag and drop on existing image to upload a new Image. Recommended logo size is 45px by 45px. Bigger files will be automatically resized.

! Any changes to POI dimensions might be overridden when updating floor maps.

351705

- ステップ 6** [Name:*] テキスト ボックスに POI の名前を入力します。
- ステップ 7** [Description:] テキスト ボックスに POI の説明を入力します。
- ステップ 8** [Service Categories] ドロップダウン リストから提供する適切なサービス ([Map]、[Deals]、または [Search]) を選択します。
- ステップ 9** [Domain Mapping] ドロップダウン リストから、ドメイン マッピングを選択します。



(注) ドメインに関連するバナーはキャンペーンに関連付けられ、興味のあるポイントに割り当てられます。

- ステップ 10** [Splash Template] ドロップダウン リストからスプラッシュ テンプレート タイプを選択します。
- ステップ 11** [Tags/Keywords:] テキスト ボックスにキーワードを入力します。

- ステップ 12** [Mobile Push Notification Message] テキストボックスに、ゾーンのモバイルプッシュ通知メッセージを入力します。モバイルアプリケーションは、ユーザが特定のゾーンに入ったときにプッシュ通知メッセージを転送します。
- ステップ 13** ロゴをアップロードするには、[Click to upload a Logo] をクリックし、検索して画像を選択し [Open] をクリックします。
- ステップ 14** [Submit] をクリックします。



(注) フロアマップの更新時に POI の寸法への変更は変更される可能性があります。

- ステップ 15** ゾーンを定義するには、[PointsOfInterests] > [System Campus] > [Venue] そしてフロアに移動します。[Draw Polygon] 設定を使用してそのフロアマップ上のゾーンを描画および設定できます。描画が終わった後でゾーンを閉じて保存するには、ゾーンをダブルクリックします。多角形を選択すると、選択した多角形のドラッグ、編集および削除などの設定を使用することもできます。

フロアマップの更新

フロアマップを更新するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** Mobile Services Engine にフロアと POI を作成します。
- ステップ 2** CMX ダッシュボード ユーザ インターフェイスにログインします。
- ステップ 3** 左側のサイドバーのメニューから [Points of Interest] を選択します。
- ステップ 4** 右側のペインの [Update Floor Maps] をクリックします。
- ステップ 5** [Update Confirmation] ダイアログが表示されます。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。キャンセルするには、[Close] をクリックします。



(注) PI 上でキャンパス、ビルディング、またはフロアを変更する場合、変更された情報を取得するために [Update Floor Maps] をクリックして、CMX ダッシュボード UI でこれらを更新する必要があります。

フロアマップの削除

PI からフロア、ビルディング、またはキャンパスのデータを削除する場合、CMX ダッシュボードからは削除されません。CMX ダッシュボード UI から情報を削除する必要があります。

フロアマップを削除するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから [Points of Interest] を選択します。
 - ステップ 2 [System Campus] > [Venue] > [Floor] に移動します。
 - ステップ 3 [Delete Floor] をクリックします。



ナビゲーション管理

CMX ダッシュボードでは、必要に応じて施設のゾーンのナビゲーションを構成することができます。CMX ダッシュボード データベースに興味のあるポイント、マップ、および方向のすべてを設定する必要があります。フロア マップは、Mobility Services Engine からのデータに基づいています。CMX ダッシュボードでは、フロアの固有のゾーンにキャンペーンを割り当てることができます。

顧客が自分のモバイル デバイスのブラウザ上のマップ ロゴをクリックすると、顧客が位置しているロケーションとゾーンのマップが表示されます。水色のアイコンは、顧客の実際の位置を示します。顧客が項目を検索する場合、ナビゲーションがその製品またはサービスの場所を特定するのに役立ちます。顧客がロゴをクリックすると、店舗情報、向かう方向、電子メールまたは電話のためのボタンが表示されます。それとともに、マップでは最短ルートによってこれらのロケーションの利便性を案内します。CMX ダッシュボードはこのナビゲーション管理をサポートします。

ナビゲーション ポイントの作成

フロア上でナビゲーション ポイントを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Floor Navigation] を選択します。
- ステップ 2** [PointOfInterests] の左側にある右側のペインの中の白い三角形のアイコンをクリックします。
- ステップ 3** [System Campus] の左側にある右側のペインの中の白い三角形のアイコンをクリックします。
- ステップ 4** 施設の名前の左側にある右側のペインの中の白い三角形のアイコンをクリックします。
- ステップ 5** フロアの名前または番号をクリックします。フロア マップが右側のペインに表示されます。
- ステップ 6** [Start Over] をクリックします。フロアのナビゲーションの設計を開始するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。[Yes] をクリックします。
- ステップ 7** フロア マップに店舗を配置するには、最上部のパネルで [Plot Store] アイコンをクリックします。



(注) 店舗をプロットする際にアカウント情報が使用されます。

- ステップ 8** パスを配置するには、[Draw Points] アイコンをクリックします。
- ステップ 9** フロアのさまざまなロケーションおよびパスを接続するには、[Draw Line] アイコンをクリックします。
- ステップ 10** 特定のロケーションに関する追加情報を追加するには、[More Info] アイコンをクリックします。

ナビゲーションポイントの作成

ステップ 11 フロアマップ上のすべてのロケーション、パス、および店舗の割り当てが終了したら、[Save] をクリックします。

次の図は、ナビゲーションポイントの作成を示します。

図 5-1 ナビゲーションポイントの作成



(注) CMX ダッシュボード ユーザーインターフェイス (UI) から、CMX Analytics UI にアクセスできます。CMX Analytics では、ロケーションおよび顧客の行動に基づいて情報を収集し分析できます。詳細については、『*CMX Analytics Configuration Guide, Release 7.5*』を参照してください。



(注) CMX ダッシュボードのナビゲーションにおいて、POI 固有のキャンペーンを有効にするための前提条件は、PI でのフロアマップの作成、PI 内の位置アクセスポイント、およびロケーション MSE へのマップの同期です。詳細については、『*Cisco Connected Mobile Experiences Configuration Guide, Release 7.5*』を参照してください。



バナー管理

バナー管理では、店舗や施設で顧客と対話するためのさまざまなタイプのメッセージを作成できます。メッセージに固有のルールおよび検証ルールを設定できます。

証明書を持つ管理ユーザまたはクレデンシャルを持つアカウントユーザはメッセージを作成し、それを確認し、承認のためにパブリッシュします。

画像付きのテキストまたは画像そのもののどちらかでメッセージを作ることもあります。メッセージの配信は、曜日、日付、時刻、ユーザのタイプ、嗜好、および場所などのさまざまな要因によって決まります。

4つのタイプのメッセージまたはバナーがあります。

1. ウェルカム
2. オファーまたはディール
3. スポンサーシップ
4. アドバタイズメント

ウェルカム

ウェルカム メッセージは、ゲストまたは顧客が企業の施設内に入った際に表示される最初のメッセージです。また、顧客が1つの興味のあるポイントから別の興味のあるポイントに移動した場合にもウェルカム メッセージが表示されます。

興味のあるポイントは、企業の施設内で製品またはサービスをセールする特定のロケーションです。

たとえば、ゲストがABCショッピングセンターに入ったときは、ウェルカム メッセージは「ABCショッピングセンターへようこそ」となります。

同様にゲストが飲食店街に入ったときは、メッセージは「国際飲食店街へようこそ」となります。

次の図で、ウェルカム メッセージの例を示します。

図 6-1 ウェルカム メッセージ



ロケーションおよび興味のあるポイントに基づいてウェルカム メッセージを変更できます。

ウェルカム メッセージは施設に入って来たビジターが初めてなのかまたは 2 回目なのかによってカスタマイズできます。

たとえば、XYZ 社のショッピングセンターへの新しいビジターには、ウェルカム メッセージは「XYZ へようこそ」です。

再度訪れた顧客に対しては、メッセージは「XYZ ショッピングセンターへまたいらして頂きありがとうございます」となるでしょう。

次の図にウェルカム メッセージの作成を示します。

図 6-2 ウェルカム メッセージの作成

ウェルカム メッセージを作成するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Banners] に移動して、[Create New Banner] をクリックします。

ステップ 2 メッセージ名を入力します。

ステップ 3 [Type of Message] メニューから [Welcome] を選択します。



(注) CMX ダッシュボードは一度だけキャンペーンでウェルカム メッセージを表示します。その他のタイプのメッセージは繰り返し表示されます。

ステップ 4 アカウント リストからメッセージを所有するアカウントのタイプを選択します。

ステップ 5 表示するメッセージの次のオプションのいずれかを選択します。

- ログ付きのテキスト

このオプションでは、フォント、サイズ、色、およびスタイルを選択できる MS Word に似たテキストの書式設定ツールを使用してメッセージのテキストを入力します。

- 画像

ステップ 6 写真または画像をアップロードするには、[Upload] をクリックします。



(注) ゲストがウェルカム メッセージをクリックして URL に移動するようにする場合は、その URL を入力する必要があります。

ステップ 7 ハイパーローカル検索のキーワードを入力します。

ステップ 8 [Submit] をクリックします。

オファーまたはディール

オファー メッセージはゲストおよび顧客に対するアドバタイズメントです。たとえば、ショッピングセンター内の店舗が新しい秋物コレクションについて知らせることができます。

ディール メッセージは、オファー メッセージの特殊なタイプです。ディール メッセージは、特定の時間に限定されたプロモーションに関するものです。キーワードとしてディールを使用して、顧客は利用可能なディールを確認するためにハイパーローカル検索を使用できます。

オファーまたはディール メッセージを作成するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Banners] に移動して、[Create New Banner] をクリックします。

ステップ 2 メッセージ名を入力します。

ステップ 3 [Type of Message] メニューから [Offer] または [Deal] を選択します。

ステップ 4 アカウント リストからメッセージを所有するアカウントのタイプを選択します。

ステップ 5 表示するメッセージの次のオプションのいずれかを選択します。

- ログ付きのテキスト

このオプションでは、フォント、サイズ、色、およびスタイルを選択できる MS Word に似たテキストの書式設定ツールを使用してメッセージのテキストを入力します。

- 画像

ステップ 6 写真または画像をアップロードするには、[Upload] をクリックします。



(注) ゲストが [Offer] をクリックして URL に移動するようにする場合は、その URL を入力する必要があります。

ステップ 7 ハイパーローカル検索のキーワードを入力します。

ステップ 8 [Submit] をクリックします。

スポンサーシップ

スポンサーシップ メッセージは、施設の特定のセクション内での外部パーティのアドバタイズメントです。外部エンティティが CMX ダッシュボードの中のアドバタイズメントのインベントリの一部を購入し、メッセージを通じてブランド、製品、およびサービスを強調表示します。

たとえば、XYZ 社が自社の製品 A をアドバタイズする場合があります。

スポンサーシップ メッセージを作成するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [Banners] に移動して、[Create New Banner] をクリックします。

ステップ 2 メッセージ名を入力します。

ステップ 3 [Type of Message] メニューから [Sponsorship] を選択します。

ステップ 4 アカウント リストからメッセージを所有するアカウントのタイプを選択します。

ステップ 5 表示するメッセージの次のオプションのいずれかを選択します。

- ログ付きのテキスト

このオプションでは、フォント、サイズ、色、およびスタイルを選択できる MS Word に似たテキストの書式設定ツールを使用してメッセージのテキストを入力します。

- 画像

ステップ 6 写真または画像をアップロードするには、[Upload] をクリックします。



(注) ゲストがスポンサーシップ バナーをクリックして URL に移動するようにする場合は、その URL を入力する必要があります。

ステップ 7 ハイパーローカル検索のキーワードを入力します。

ステップ 8 [Submit] をクリックします。

アドバタイズメント

アドバタイズメントは、外部パーティが自社ブランドのプロモーションを行うためのメッセージです。

アドバタイズメントを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Banner] に移動して、[Create New Banner] をクリックします。
- ステップ 2** メッセージ名を入力します。
- ステップ 3** [Type of Message] メニューから [Advertisement] を選択します。
- ステップ 4** アカウント リストからメッセージを所有するアカウントのタイプを選択します。
- ステップ 5** 表示するメッセージの次のオプションのいずれかを選択します。
- テキスト付きの正方形の画像
このオプションでは、フォント、サイズ、色、およびスタイルを選択できる MS Word に似たテキストの書式設定ツールを使用してメッセージのテキストを入力します。
 - 長方形の画像
- ステップ 6** 写真または画像をアップロードするには、[Upload] をクリックします。
-  **(注)** ゲストが [Advertisement] をクリックして URL に移動するようにする場合は、その URL を入力する必要があります。
- ステップ 7** ハイパーローカル検索のキーワードを入力します。
- ステップ 8** [Submit] をクリックします。

メッセージのタイプの違い

メッセージのタイプには、ウェルカム、オファー、スポンサーシップ、アドバタイズメント、およびディールがあります。これらのメッセージ間の違いは、管理ユーザが設定するルールに基づいています。

ウェルカム メッセージは、ゲストまたは顧客が最初に施設に入ったときに表示されます。また、顧客が1つのゾーンから別のゾーンへ移動した場合に表示されます。これは繰り返されません。

ディールは顧客に1日単位で提供されるバーゲンです。

オファーは、顧客の施設への訪問頻度に基づいて提供されます。

スポンサーシップは施設に応じて使用されるメッセージです。たとえば、Google がコンベンション センターや教育会議で全ユーザに無料で Wi-Fi を提供する場合があります。

アドバタイズメントは小売店のケースでより関連性があります。たとえば、企業がショッピングセンターで製品の発売をアドバタイズする場合があります。



キャンペーン管理

キャンペーン管理では、企業がさまざまなキャンペーンを作成して実行することが可能になります。

特定の興味のあるポイントのキャンペーンを作成して、オファー、ディール、スポンサーシップ、アドバタイズメント、およびウェルカム メッセージなどのメッセージにキャンペーンを割り当てることができます。

特定のメッセージにトリガー ルールを設定したりキャンペーンに検証ルールを設定することができます。

キャンペーンを作成するには、アカウントおよびバナーが必要です。

Web バナー

Web バナーは CMX ダッシュボード上のアドバタイジングの一種です。ゲストまたは顧客が店舗または施設に入りワイヤレス ネットワークに接続すると、顧客のモバイル デバイスにロゴまたは画像の形で Web バナーを表示できます。

キャンペーンの作成

キャンペーンを作成する前に、アカウントおよびバナーが必要です。

キャンペーンを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Campaigns] を選択します。
- ステップ 2** 右側のペインで、[Create New Campaign] をクリックします。
- ステップ 3** [Campaign Name: *] テキスト ボックスに、キャンペーン名を入力します。
- ステップ 4** [Account:] ドロップダウン リストから、アカウントを選択します。これは、このキャンペーンを割り当てるアカウントです。



(注) [Points of Interests:] リスト ボックスに入力するための興味のあるポイントを作成する必要があります。

- ステップ 5** [Points of Interests:] リスト ボックスから興味のあるポイントを選択します。これは、キャンペーンを表示するゾーンです。
- ステップ 6** [Active Period:*] をクリックしてカレンダーを開き、開始日時と終了日時を選択します。キャンペーンはこれらのタイムスロット内でオンになります。
- ステップ 7** 追加のルールおよびポリシーを適用するには、[Campaign Rules] グループ ボックスで、[Add] をクリックします。[Add/Edit Policy Rules] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 8** [Add/Edit Policy Rules] ウィンドウで、次の手順を実行します。
- [Dates] をクリックしてカレンダーを開き、開始時刻と終了時刻を選択します。
 - [Days] リストから曜日を選択します。選択肢は、[Mon]、[Tue]、[Wed]、[Thu]、[Fri]、[Sat]、および [Sun] です。これは、このキャンペーンをパブリッシュする曜日です。
 - [Time] をクリックしてカレンダーを開き、[Time]、[Hour]、および [Minute] を選択します。
 - [Save] をクリックします。
- ステップ 9** キャンペーンにウェルカム メッセージを割り当てるには、[Next] をクリックします。[Welcome Setup] タブが表示されます。
- ステップ 10** [Active Welcomes] リスト ボックスから、ウェルカム バナーを選択します。
- ステップ 11** すでに作成済みのオファー バナーをキャンペーンに割り当てるには、[Next] をクリックします。
- ステップ 12** [Active Offers] リスト ボックスからアクティブなオファーを選択します。
- ステップ 13** [Next] をクリックしてこのキャンペーンにオファーを割り当てます。
- ステップ 14** [Active Sponsorships] リスト ボックスからアクティブなスポンサーシップを選択します。
- ステップ 15** すでに作成済みのアドバタイズメントをこのキャンペーンに割り当てるには、[Next] をクリックします。
- ステップ 16** [Active Advertisements] リスト ボックスからアドバタイズメントを選択します。
- ステップ 17** [Next] をクリックしてこのキャンペーンにディールを割り当てます。
- ステップ 18** [Active Deals] リスト ボックスからディールを選択します。
- ステップ 19** [Submit] をクリックします。
- ステップ 20** アクティブ キャンペーンをパブリッシュするには、右側のペインで [Publish Active Campaigns] をクリックします。



(注)

デフォルトでは、新しく作成されたキャンペーンは非アクティブです。これらはパブリッシュする前にアクティブにする必要があります。アクティブ化した後、[Active Banners] グループ ボックスにバナーが表示されます。新しく作成されたバナーをキャンペーンに関連付ける必要があります。

キャンペーンへのバナーの割り当て

ウェルカム メッセージ、オファー、スポンサーシップ、アドバタイズメント、およびディールなどのさまざまなバナーをキャンペーンに割り当てるには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから [Campaigns] を選択します。
- ステップ 2 [Active Campaigns] グループ ボックス内のキャンペーンをクリックして強調表示します。選択したキャンペーンにさまざまなバナーを割り当てることができます。
- ステップ 3 [Edit] をクリックします。[Add/Edit Campaign] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 4 ウェルカム メッセージを割り当てるには、[Welcome Setup] タブに移動し、[Active Welcomes] ドロップダウン リストからウェルカム メッセージを選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 5 [Offers Setup] タブが開きます。[Active Offer] ドロップダウン リストからオファーのバナーを選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 6 [Sponsorship Setup] タブが開きます。[Active Sponsorship] ドロップダウン リストからスポンサーシップを選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 7 [Advertisement Setup] タブが開きます。[Active Advertisements] ドロップダウン リストからアドバタイズメント提供バナーを選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 8 [Deals Setup] タブが開きます。[Active Deals] ドロップダウン リストからディールを選択します。
- ステップ 9 [Submit] をクリックします。

既存バナーの編集

既存バナーを編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから [Banners] を選択します。
- ステップ 2 アクティブおよび非アクティブのバナーの両方を表示するには、右側のペインで [All] をクリックします。
- ステップ 3 [All Banners] グループ ボックスで、編集するバナーをクリックして強調表示します。
- ステップ 4 [Edit] をクリックします。
- ステップ 5 [Add/Edit Banner] グループ ボックスおよび [Setup Content] グループ ボックスで必要な変更を行います。
- ステップ 6 [Submit] をクリックして変更を適用します。



(注) 変更をキャンセルするには、[Cancel] をクリックします。

バナーの削除

バナーを削除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから [Banners] を選択します。
- ステップ 2 アクティブおよび非アクティブのバナーの両方を表示するには、右側のペインで [All] をクリックします。
- ステップ 3 [All Banners] グループ ボックスで削除するバナーを選択します。
- ステップ 4 [Delete] をクリックします。

ステップ 5 [Confirmation] ダイアログボックスが表示されます。バナーを削除するには [OK] をクリックします。



(注) バナーを削除しない場合は、[Close] をクリックします。

既存バナーのプレビュー

既存のアクティブまたは非アクティブのバナーを表示するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Banners] を選択します。
- ステップ 2** アクティブおよび非アクティブのバナーの両方を表示するには、右側のペインで [All] をクリックします。
- ステップ 3** [All Banners] グループ ボックスでバナーを選択し、[Preview] をクリックします。
- ステップ 4** モバイル デバイスで顧客に利用可能なときにバナーが表示されます。

バナーの検索

バナーを検索するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Banners] を選択します。
- ステップ 2** すべてのアクティブ バナーを表示および検索するには右側のペインで [Active] をクリックします。
- ステップ 3** すべての非アクティブ バナーを表示および検索するには右側のペインで [Inactive] をクリックします。
- ステップ 4** すべてのアクティブおよび非アクティブなバナーを検索するには、[All] をクリックします。



サービス管理

CMX ダッシュボードは、メッセージとサービスという 2 通りの方法で施設で顧客と対話します。サービスは、CMX ダッシュボードに顧客を引き寄せる付加価値の提供です。サービスは、顧客が施設に入ったときに顧客をエンゲージするのに役立ちます。メッセージは、収益創出で企業を支援します。メッセージは、アドバタイズメント、オファー、およびスポンサーシップです。

企業向けサービスを作成する最初の手順は、CMX ダッシュボードで顧客に提供できる適切なサービスを特定することです。

CMX ダッシュボードでは現在、ハイパーローカル検索、マップ、およびディールなどの有効なサービスを提供しています。

管理ユーザは、CMX ダッシュボードでハイパーローカル検索およびマップ サービスを設定できます。また、管理ユーザは施設に特化した追加サービスを作成できます。

CMX ダッシュボードは、顧客のモバイル デバイスのブラウザに CMX ダッシュボード ツール バーのアイコンとしてエンゲージする方法を提供します。

ハイパーローカル検索

ハイパーローカル検索は、CMX ダッシュボードに組み込まれています。検索アイコンは、CMX ダッシュボードにプリロードされており、ユーザは変更できません。顧客はキーワードを入力でき、CMX ダッシュボードによって施設に特化した結果が提供されます。

ハイパーローカル検索サービスは施設内のどこでも表示されるように事前に設定されていて、ロケーション ベースではありません。

CMX ダッシュボードの管理者は、ユーザがシステムにアップロードしたデータを使用して、ハイパーローカル検索機能を生成します。管理ユーザがメッセージ、アドバタイズメント、およびアカウントを作成すると、ユーザはキーワードを使用してこれらのサービスを検索できます。

顧客は結果の 1 つをクリックして、近くの興味のあるポイントの方向を取得できます。また、顧客は店舗に固有の URL リンクをクリックして詳細な情報を取得できます。



(注)

顧客が情報を保存しないで [Close] をクリックすると、検索結果は失われます。

ハイパーローカル検索の外観の編集

検索アイコンの外観を変更するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** 左側のバーのメニューから [Menu] を選択します。右側のペインに [Menu Categories] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 2** [Search] を選択します。[Edit] をクリックします。[Add/Edit Service] グループ ボックスが表示されず。
[Service Name:*] テキスト ボックスにデフォルトで「検索」が入力されています。
- ステップ 3** モバイル デバイスのブラウザでの検索アイコンの外観を変更する場合は、表示スタイルに [Grid] または [List] のどちらかを選択します。
デフォルトでは、検索の状態はアクティブです。
- ステップ 4** ロゴを変更するには、[Choose Logo:*] の中のアイコンをクリックします。
- ステップ 5** [File Upload] ダイアログボックスから画像ファイルを特定し、[Open] をクリックします。
- ステップ 6** [Submit] をクリックします。

マップ

マップは、CMX ダッシュボードに組み込まれています。

顧客は次の目的でマップを使用します。

- [Find Me]/自分の位置を特定
- 店舗の位置を特定

CMX ダッシュボードは、施設で道を見つけるために顧客を案内し興味のあるポイントへの方向を表示します。

CMX ダッシュボードの管理ユーザは、CMX ダッシュボード データベースに施設全体のマップをアップロードする必要があります。

マップの外観の編集

マップの外観を変更するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** 左側のメニューから [Menu] を選択します。右側のペインに [Menu Categories] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 2** マップを選択します。[Edit] をクリックします。[Add/Edit Service] グループ ボックスが表示されます。
[Service Name:*] テキスト ボックスにデフォルトで「Map」が入力されています。
- ステップ 3** モバイル デバイスのブラウザでのマップアイコンの外観を変更する場合は、表示スタイルに [Grid] または [List] のどちらかを選択します。
デフォルトでは、マップの状態はアクティブです。

- ステップ 4 ログを変更するには、[Choose Logo:*] の中のアイコンをクリックします。
 - ステップ 5 [File Upload] ダイアログボックスから画像ファイルを特定し、[Open] をクリックします。
 - ステップ 6 [Submit] をクリックします。
-

ディール

管理ユーザがシステムに入力したディールに基づいてシステムによって作成されます。ディールは施設内のすべてのディールを一度に示す CMX ダッシュボードに表示されます。

特定の興味のあるポイントにアクティブなディールがある場合にのみ、顧客のモバイル デバイスのブラウザ上に [Deals] アイコンが表示されます。

ディールの外観の編集

ディールの外観を変更するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 左側のメニューから [Menu] を選択します。右側のペインに [Menu Categories] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 2 ディールを選択します。[Edit] をクリックします。[Add/Edit Service] グループ ボックが表示されず。
[Service Name:*] テキスト ボックスにデフォルトで「Deals」が入力されています。
- ステップ 3 モバイル デバイスのブラウザでのディールのアイコンの外観を変更する場合は、表示スタイルに [Grid] または [List] のどちらかを選択します。
デフォルトでは、ディールの状態はアクティブです。
- ステップ 4 ログを変更するには、[Choose Logo:*] の中のアイコンをクリックします。
- ステップ 5 [File Upload] ダイアログボックスから画像ファイルを特定し、[Open] をクリックします。
- ステップ 6 [Submit] をクリックします。



ブラウザ画面およびエンド ユーザ エクスペリエンス

CMX ダッシュボードの管理ツールでは、管理ユーザが CMX ダッシュボードのランタイム動作や外観を管理することができます。

CMX ダッシュボードの動作およびユーザ インターフェイスを制御する設定の仕様が 있습니다。

ブラウザの表示

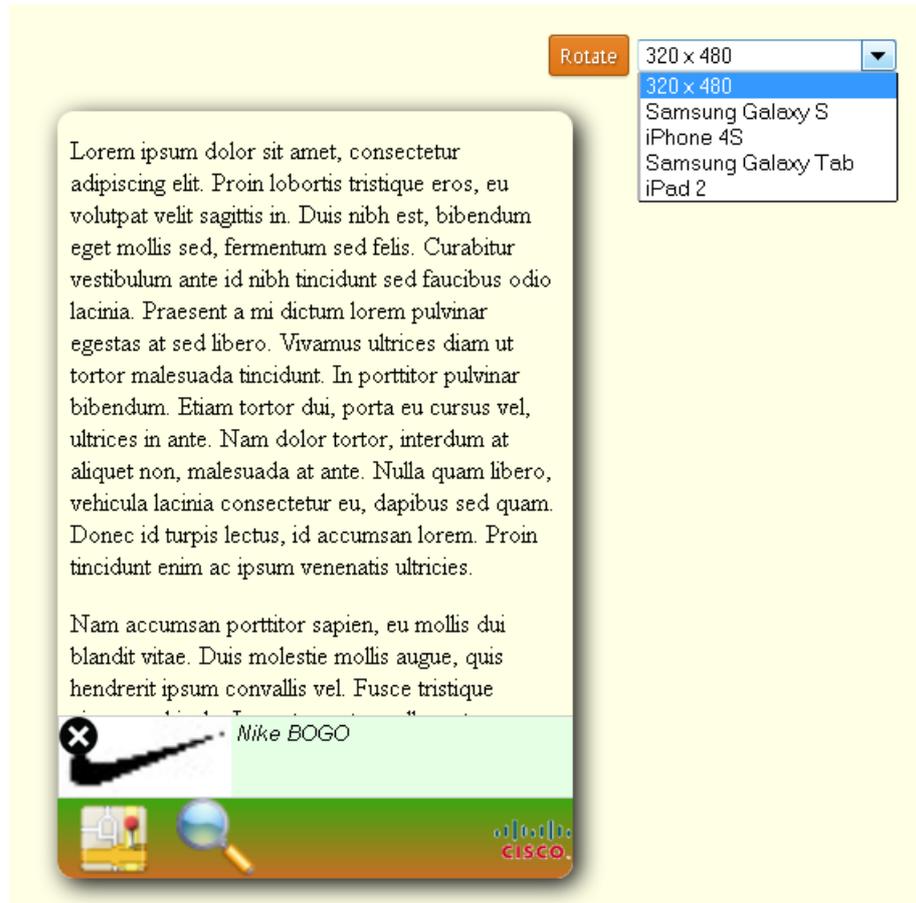
ブラウザの表示では、管理ユーザは施設での顧客のモバイル デバイス上の CMX ダッシュボード サービスの外観を確認し管理することができます。

シミュレータは、CMX ダッシュボードの管理ツールの一部として提供され、エンドユーザ デバイスに特化した表示を複製します。

現在、CMX ダッシュボードは iPhone 4S、Samsung Galaxy S、Samsung Galaxy Tab、iPad 2 などのほとんどの Android および iOS デバイスをサポートします。

次はモバイル ブラウザの簡単な表示です。

図 9-1 モバイル ブラウザ



管理者ユーザはデバイス タイプを選択し、次をシミュレートできます。

- ランタイム動作
- さまざまな設定での外観
- さまざまな色とロゴを使用したバナーの外観
- バナーのアニメーション

アイコンまたは画像

次はロゴまたはバナーが使用できる各種アイコンです。

- 検索
- デイール
- HTML5 マップ

次に、ロゴおよびバナーの詳細を示します。

- メイン ロゴ

この 7.5 リリースでは、CMX ダッシュボードの管理ツールはあらゆる大きさの正方形としてメイン ロゴのアップロードをサポートしますが、各種モバイル デバイスのディスプレイの形状をサポートするために 45 X 45 ピクセルに限定されています。

- バナー :

バナーはメイン ロゴのアイコンとともにエンドユーザー デバイスに渡される必要があります。CMX ダッシュボードの管理ツールには、次を抽出するためのカラー パレットがあります。

- 背景色の開始
- 背景色の終わり (フェードインが必要ない場合は開始と同じ)
- サービス アイコンはバナーに横に表示されてロケーション認識です。サービス アイコンの仕様は次のとおりです。
 - モバイル用は 45 X 45 ピクセル
 - タブレット/デスクトップ用は 64 X 64 ピクセル

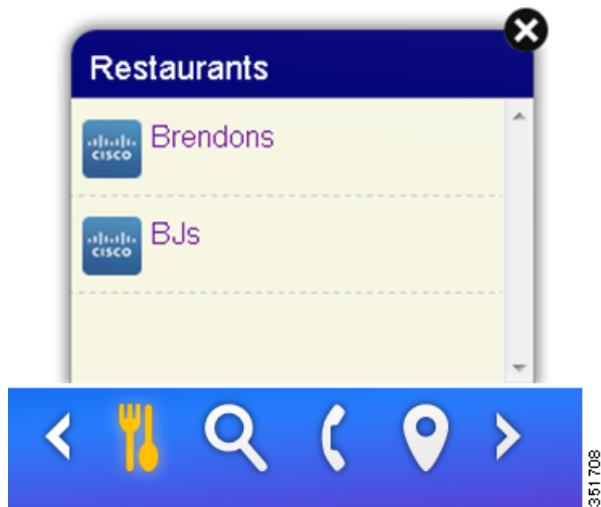
図 9-2 アイコンの例



個別のサービスを作成 / 編集する際に管理ツールを介してサービス アイコンをアップロードし、シミュレーション ツールでプレビューすることができます。

- サービス項目アイコンは、ユーザがサービスをクリックするとポップアップするアイコンです。サービス項目には、ディール項目、オファー項目、マップ アイコン、店舗のアイコン、メッセージがあります。これらのアイコンには次の仕様があります。
 - 60 X 40 ピクセル
 - 75 X 50 ピクセル
- ローリング メッセージ (アドバタイズメント) : サービス項目アイコンと同じです。

図 9-3 サービス アイコンの例



UI テンプレート

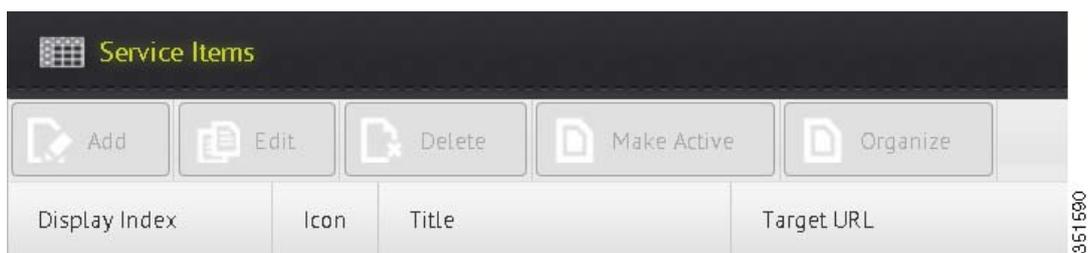
UI テンプレートは、CMX ダッシュボード UI 用に設計されたページ レイアウトです。

特定のサービスのサービス項目のランタイムの表示形態は、UI のテンプレートを介して制御され管理ツールによって設定される必要があります。

現在、次のテンプレートがサポートされています。

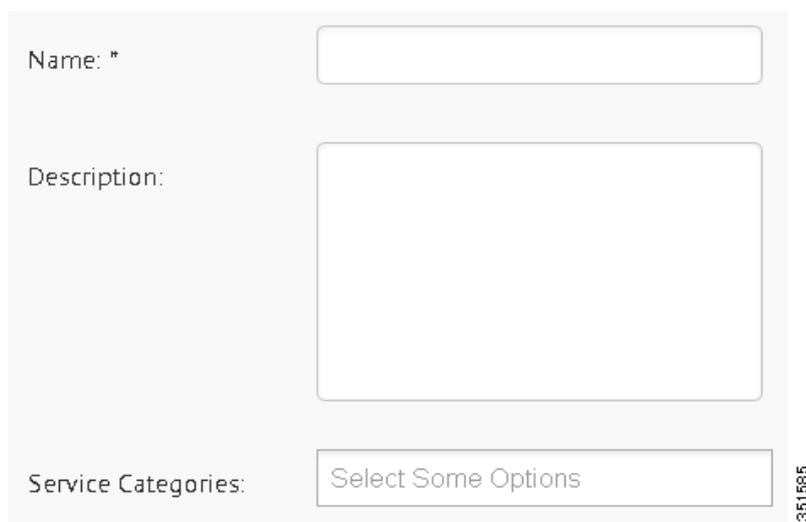
- テーブル（項目アイコン、項目名 + 説明）：URL が提供された場合に行全体をクリックできます。たとえば、マップ サービスでは表として表示できるさまざまな項目があります。

図 9-4 表の例



- グリッド：表示するアイコンと名前の付いたものです。たとえば、興味のあるポイントには 2 X 3 のグリッドとしてさまざまな項目（カジノ、レストラン、およびコーヒー）があります。

図 9-5 グリッドの例



The image shows a form grid with three input fields. The first field is labeled "Name: *" and contains an empty text box. The second field is labeled "Description:" and contains a larger empty text area. The third field is labeled "Service Categories:" and contains a text box with the placeholder text "Select Some Options". A vertical number "351685" is visible on the right side of the form.

アニメーション

アニメーションは、ブラウザ検索が施設で動作中にユーザの注意を獲得および維持することに重点を置いています。

これによって、管理ユーザはモバイル デバイスのブラウザにロゴを表示する方法を定義できます。

サービスの外観の設定

サービスの外観を設定するには、次の手順を実行します。

左側のサイドバーのメニューから [Appearance] を選択します。[Service Bar] および [Animation] タブが表示されます。図 9-6 は設定を表しています。

[Service Bar] タブで、次の手順を実行します。

- ステップ 1** サービスの表示のタイプを [Display] から [on-demand] または [Always] で選択します。
- ステップ 2** サービス バーの位置を [Position] から選択します。モバイル デバイスのブラウザの最上部または最下部で位置を選択できます。
- ステップ 3** サービス バーを表示しない Web サイトの URL を [Exceptions:] テキスト ボックスに入力します。
- ステップ 4** 背景色を [Background Color Start] および [Background Color End] から選択します。
- ステップ 5** [Banner Display Time] テキスト ボックスにサービス バーがモバイル デバイスのブラウザに表示される時間を秒数で入力します。



(注) 最小の表示時間は 10 秒です。

Cisco ロゴはデフォルトのロゴとしてロードされます。

- ステップ 6** リアルタイムで変更を確認するには、[Auto-Preview] をクリックします。右側のペインにプレビューが表示されます。
- ステップ 7** 設定を保存して適用するには、[Save Settings] をクリックします。

図 9-6 サービスの外観

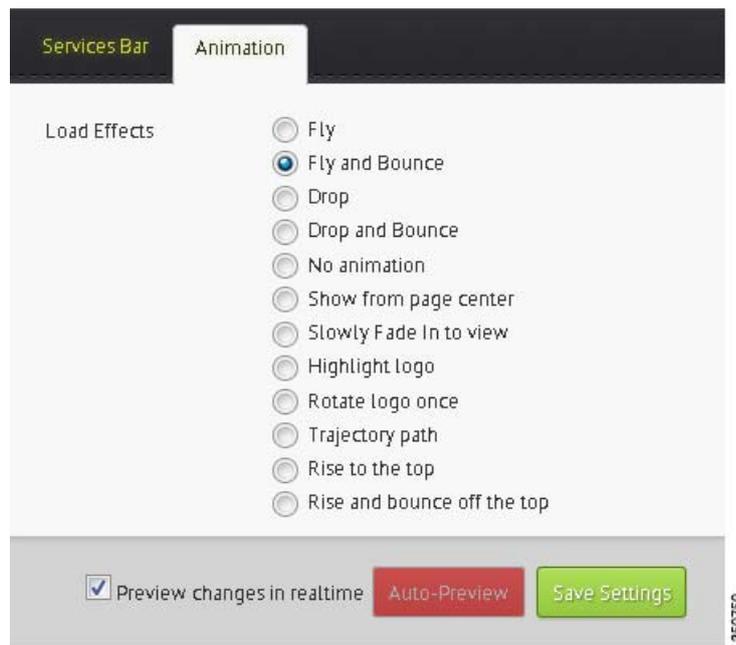
The screenshot shows the configuration interface for the Services Bar. The 'Animation' tab is selected. The 'Display' section has 'Always' selected. The 'Position' section has 'Bottom' selected. The 'Exceptions' field contains 'cisco.com, yahoo.com'. The 'Background Color Start' is set to '3da610' and 'Background Color End' is set to 'c96e24'. The 'Banner Display Time (Min 10 sec)' is set to '10'. The 'Default Logo (48px X 48px)' is the Cisco logo. At the bottom, there is a checkbox for 'Preview changes in realtime' which is checked, and two buttons: 'Auto-Preview' and 'Save Settings'.

アニメーションの外観の設定

サービス バーがブラウザに表示される方式を設定できます。CMX ダッシュボードの管理ユーザはサービス バーのアニメーションのタイプを選択できます。

[show from the page center]、[fly and bounce]、[rotate the logo once]、[rise to the top]、または [no animation] などその他さまざまなオプションがあります。次の図は、使用可能なさまざまなアニメーション オプションを示します。

図 9-7 アニメーション オプション



アニメーションを設定するには、以下の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Appearance] を選択します。[Service Bar] および [Animation] タブが表示されます。
- ステップ 2** [Animation] タブで、[Load Effects] からサービス バーのアニメーション効果を選択します。
- ステップ 3** リアルタイムで変更をプレビューするには、[Auto-Preview] をクリックします。右側のペインにプレビューが表示されます。
- ステップ 4** ロードの効果設定を保存して適用するには、[Save Settings] をクリックします。

エンド ユーザ エクスペリエンス

CMX ダッシュボードはシンプルで直感的に使用でき顧客に付加価値サービスを提供する一方、企業はモバイル アドバタイズメントおよび分析によって収益創出を探ることができます。

施設のゲストまたは顧客は CMX ダッシュボードのエンド ユーザです。次に、XYZ 社によって管理される Wi-Fi ネットワークを備えたショッピング センターでの例でエンド ユーザ エクスペリエンスを示します。

- 顧客が、Wi-Fi ネットワークを備える企業内に歩いて来ています。
- 顧客は、モバイル デバイスでこの施設でインターネットを活用し始めます。
- Web ページに、XYZ 社のロゴがブラウザの右下隅に表示されます。これは CMX ダッシュボード サービスが使用可能であることを示します。



(注) 企業のロゴは、顧客が参照する Web ページごとに表示されます。

- 顧客が XYZ のロゴをクリックし、CMX ダッシュボード サービス バーを開きます。CMX ダッシュボード サービスがこの企業で利用可能であることを表示するツールバーがあります。
- 顧客が [hyper-local search] アイコンをクリックして検索キーワードを入力すると、CMX ダッシュボードの CMX ダッシュボード バナーの最上部に検索結果が表示されます。ゲストがマップのロゴをクリックして店舗名またはキーワードを入力すると、CMX ダッシュボードで結果を表示するマップが開きます。

企業がモバイル アドバタイズメントから収益を創出するために CMX ダッシュボードを使用する場合、管理ユーザはアドバタイズメントの外観を設定できます。

たとえば、アドバタイズメントは XYZ 社のクライアントの 1 つです。XYZ 社のケーブル テレビ ネットワークのアドバタイズメントのインベントリを購入するアドバタイズメント代理店とのビジネス関係があります。これらのアドバタイズメント代理店は XYZ 社の Wi-Fi ネットワークの CMX ダッシュボードによって生成された新しいアドバタイズメントのインベントリを購入します。ここで、XYZ 社のアドバタイズメント サーバと CMX ダッシュボードの統合プロセスがあります。

Make a Wish

右上隅にある [Make a wish] リンクは電子メールでフィードバックを送信できるようにします。

アクセスするには、[Make a wish] をクリックします。これは、MS Outlook で電子メール ID の mse-wishlist-external@cisco.com を指定します。

CMX ダッシュボードの感想やコメントをこの電子メール ID に送信できます。

ブラウザおよびオペレーティング システムのサポート

次に、CMX ダッシュボードが現在サポートする Web ブラウザおよびオペレーティング システムを示します。

表 9-1 ブラウザおよび OS

| ブラウザ | オペレーティング システム |
|--------------|---------------|
| Safari | iOS |
| Android ブラウザ | Android |

| ブラウザ | オペレーティング システム |
|-----------------|---|
| Chrome | Google Chrome OS |
| Mozilla Firefox | Windows、OS X、および Linux、Android にはモバイルバージョンでサポート |



(注) CMX ダッシュボードはデスクトップデバイスおよび Windows phone の Windows Internet Explorer ではサポートされません。CMX ダッシュボードは BlackBerry ではサポートされません。



(注) モバイルデバイスで CMX ダッシュボード UI のデスクトップバージョンにアクセスする場合、小さくて使用できない可能性があります。



(注) CMX ダッシュボードはすべての Web サイトの約 95% をサポートします。



CMX ダッシュボードのレポート

CMX ダッシュボードでは、企業内の管理ユーザはサービスの使用状況および顧客の行動を分析することができます。

また、管理ユーザは施設内のドメイン全体にわたって販売のパターンを調査できます。

たとえば、管理ユーザはサービス パフォーマンスを確認し、ハイパー検索、マップ、およびディールのサービスの使用状況を分析できます。

これらのレポートに基づいて、企業は顧客志向のオファーを提案する機会をさらに開拓できます。これによって、企業は特定の施設でより多くの顧客を引き寄せてエンゲージすることが可能になります。

レポート

CMX ダッシュボードでは、特定の施設でのサービスのレポート取得をサポートしています。レポートによって、管理ユーザは一定の期間のパフォーマンスを分析することができます。

CMX ダッシュボードでレポートにアクセスするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから [Reports] を選択します。

[Services]、[Message]、および [Domain Metrics]、[Visitor Connect] タブが表示されます。

ステップ 2 本日のサービス パフォーマンスおよびサービス クリック数を表示するには、[Services] タブで [Today] をクリックし、次に [Apply] をクリックします。



(注) サービス パフォーマンスはカスタム サービスの使用状況レポートです。

- 毎日のサービス パフォーマンスおよびサービス クリック数を表示するには、[Daily] をクリックし、次に [Apply] をクリックします。
- 毎月のサービス パフォーマンスおよびサービス クリック数を表示するには、[Monthly] をクリックし、次に [Apply] をクリックします。

次の図は、毎月のパフォーマンスおよびクリック数を示します。

図 11-1 サービス パフォーマンス

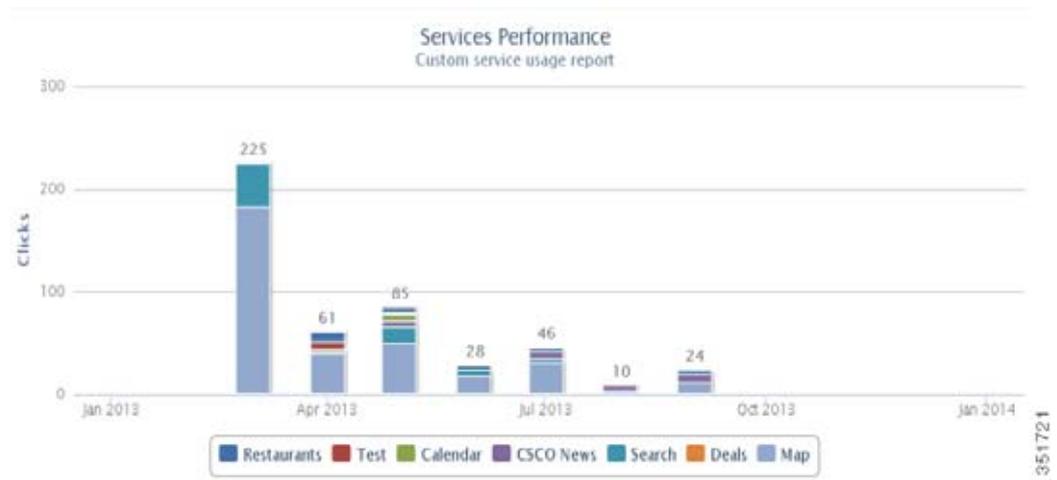


図 11-2 サービス クリック数



- 選択した日付のレポートを表示するには、[Custom] をクリックします。[From] および [To] のカレンダーで日付を選択します。[Apply] をクリックします。

ステップ 3 各施設に対するメッセージ数を表示するには、[Message] をクリックします。
次の図に、施設のメッセージ数を示します。

図 11-3 施設ごとのメッセージ数



ステップ 4 ドメインに最適なパフォーマンスを調査する場合は、[Domain Metrics] をクリックします。

[This Hour]、[Today]、[This Week]、および [This Month] から時間枠を選択します。

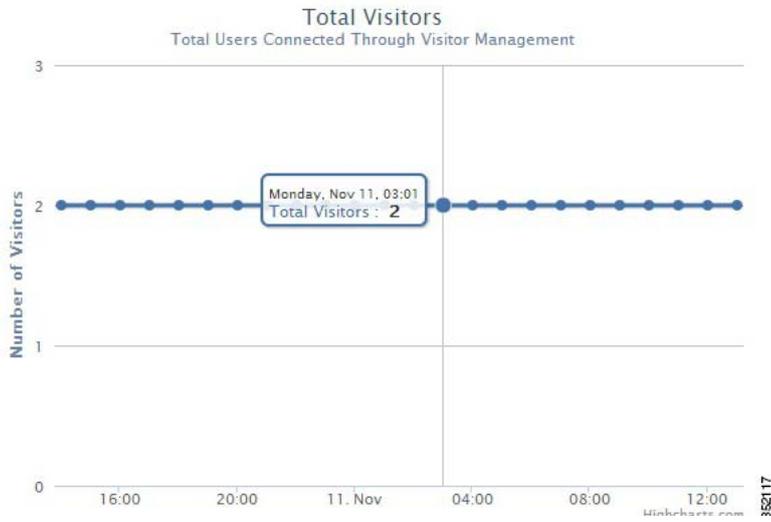
ステップ 5 ビジターの詳細を監視するには、[Visitor Connect] をクリックします。

- ビジター接続で接続された新しいビジターおよびすべてのビジターの時間単位の傾向を表示するには、[Hourly] をクリックし、開始日時と終了日時を選択します。

図 11-4 新しいビジターの時間別傾向



図 11-5 すべてのビジターの時間別傾向



- 新しいビジターおよびすべてのビジターの日単位の傾向を表示するには、[Daily] をクリックし、開始日と終了日を選択します。

図 11-6 新しいビジターの日別傾向

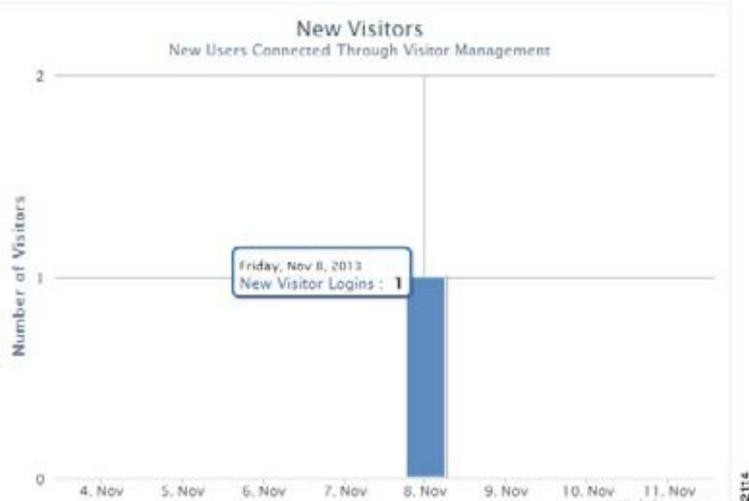


図 11-7 すべてのビジターの日別傾向



- 新しいビジターおよびすべてのビジターの週単位の傾向を表示するには、[Weekly] をクリックし、開始日と終了日を選択します。

図 11-8 新しいビジターの週別傾向

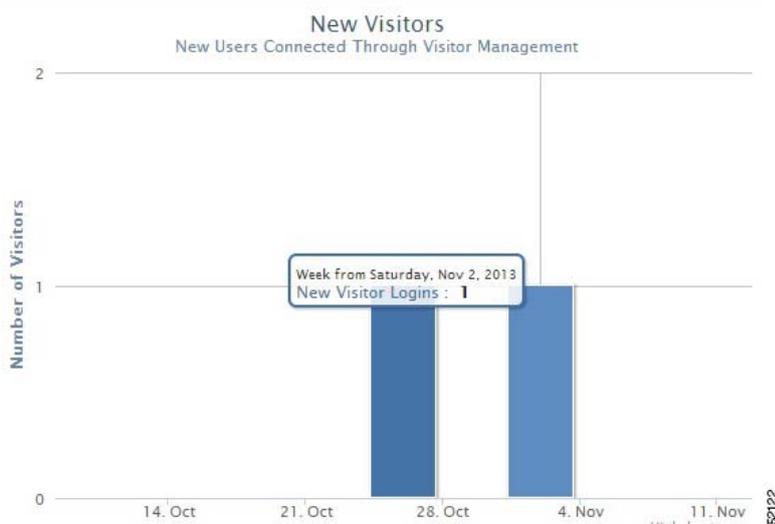
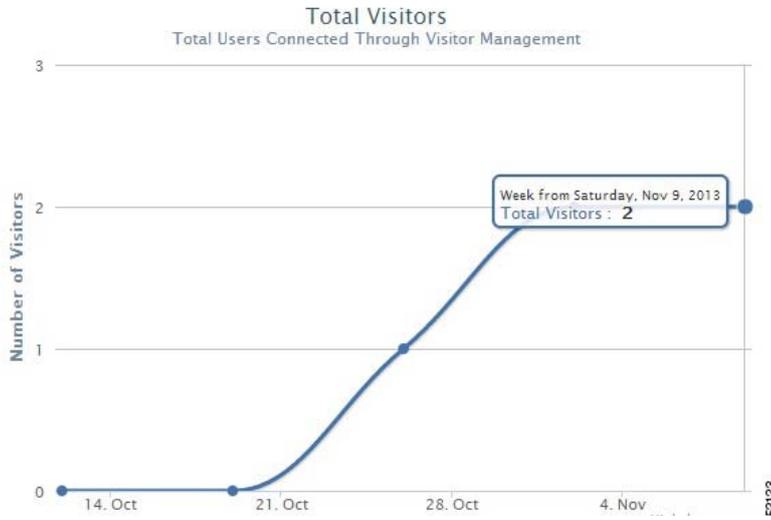


図 11-9 すべてのビジターの週別傾向



- 新しいビジターおよびすべてのビジターの月単位の傾向を表示するには、[Monthly] をクリックし、月を選択します。

図 11-10 新しいビジターの月別傾向

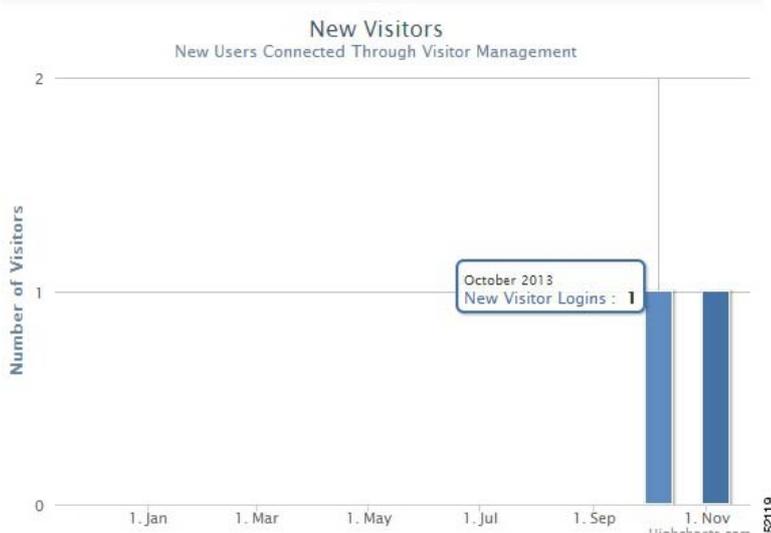
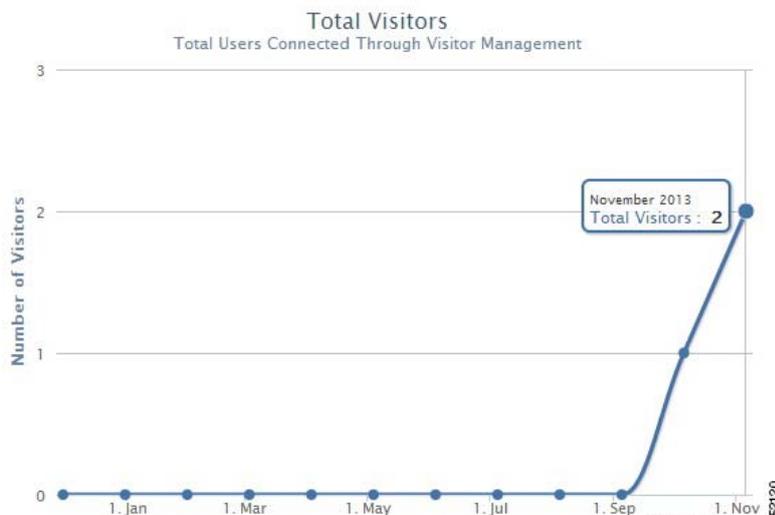


図 11-11 すべてのビジターの月別傾向



ステップ 6 ページの下部にある表は、スプラッシュ テンプレート設定に基づいたアクティブ ビジターに関する登録情報を示します。表のこの情報は、ソートおよびフィルタリングできます。

ステップ 7 [Export to CSV] をクリックして、ビジターの詳細をエクスポートします。

要約

CMX ダッシュボードには、簡単な表示および分析に重要なさまざまな因子のサマリーを提供するダッシュボードがあります。この因子には、使用状況、興味のあるポイント、サービス、ドメイン、デバイス製造元など、そして顧客のモバイル デバイスのオペレーティング システムもあります。

ダッシュボードのサマリーにアクセスするには、クレデンシャルを使用して CMX ダッシュボード ユーザー インターフェイスにログインします。

左側のサイドバーのメニューから [Summary] を選択します。

[Venues] 内のマップで施設を見ることができます。施設は大きなドットで表されます。アクティブな興味のあるポイント、現在アクティブなキャンペーン、および提供されている合計メッセージ数を表示できます。

ダッシュボードの敷地すべての情報のグラフを表示するには、[Summary] をクリックします。特定の施設に対する情報のグラフを表示するには、マップ上でその施設を表す緑色のドットをクリックします。

CMX ダッシュボードの使用状況は数日のインプレッションのグラフで表示されます。下向きにスクロールすると、上位の興味があるポイント、上位のサービス、および上位のドメインを確認できます。施設内の顧客のモバイル デバイスのオペレーティング システムのパターンを分析するには、上位のオペレーティング システムを表示できます。

次の図では、上位の POI、サービス、上位オペレーティング システム、およびドメインを示しています。

図 11-12 上位の POI

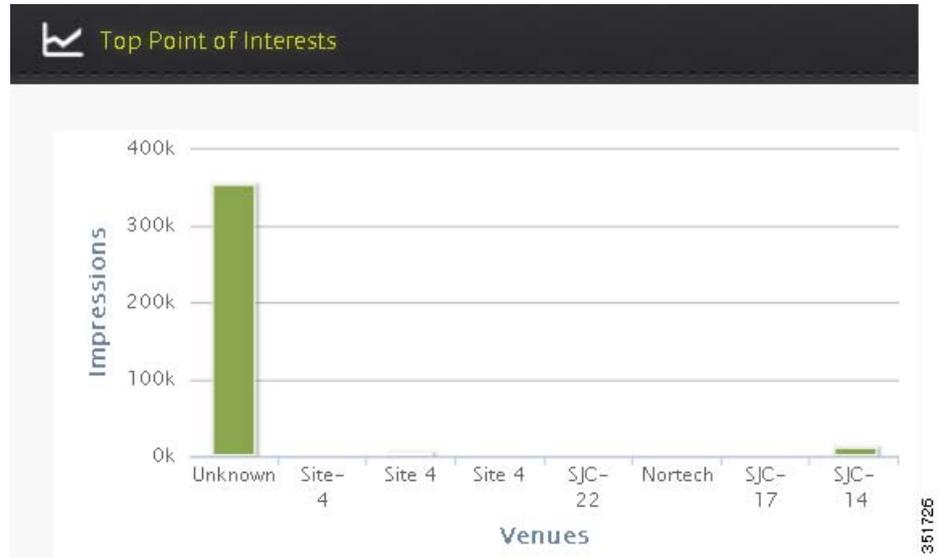


図 11-13 上位のサービス

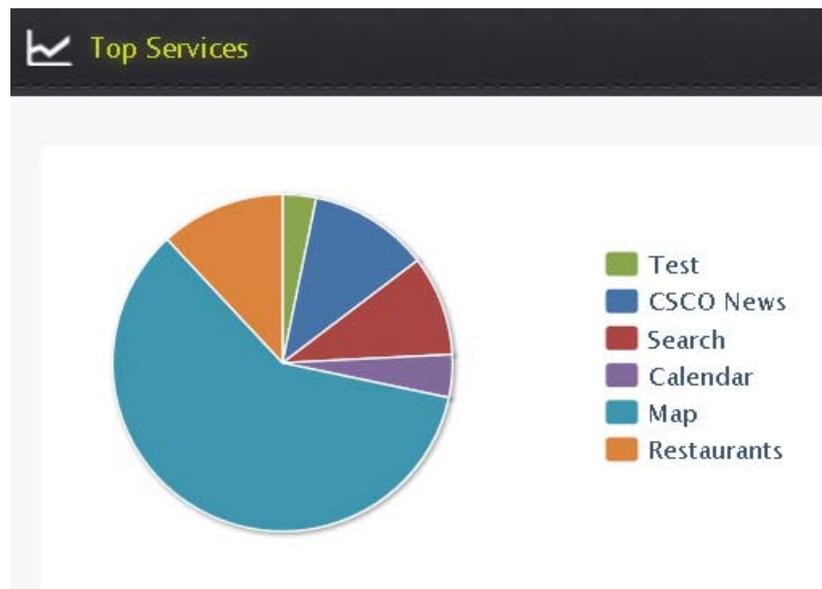


図 11-14 上位のドメイン

Top Domains

This Hour Today This Week This Month

| Domains | No. of Impressions |
|-----------------------|--------------------|
| www.youtube.com | 4583 |
| wwwin.cisco.com | 1311 |
| wwwin-tools.cisco.com | 1213 |
| ciscodocs.cisco.com | 491 |
| www.linkedin.com | 487 |
| www.ebay.com | 453 |
| finance.yahoo.com | 435 |
| www.cisco.com | 310 |
| j3.cdreimer.com | 281 |
| www.google.com | 273 |

351722

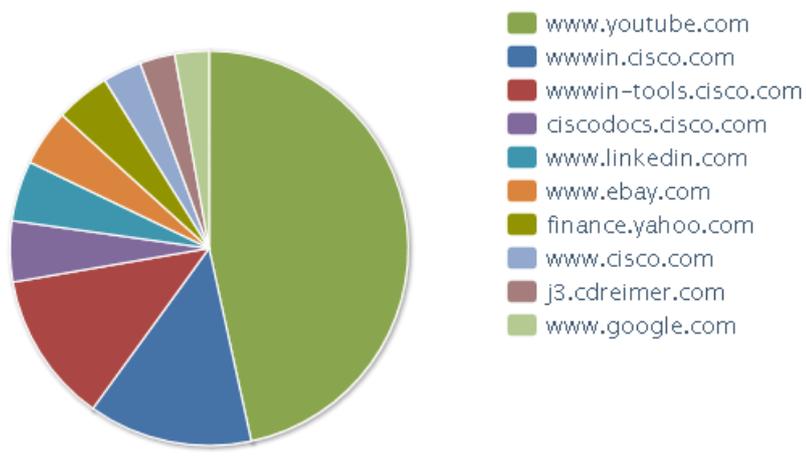
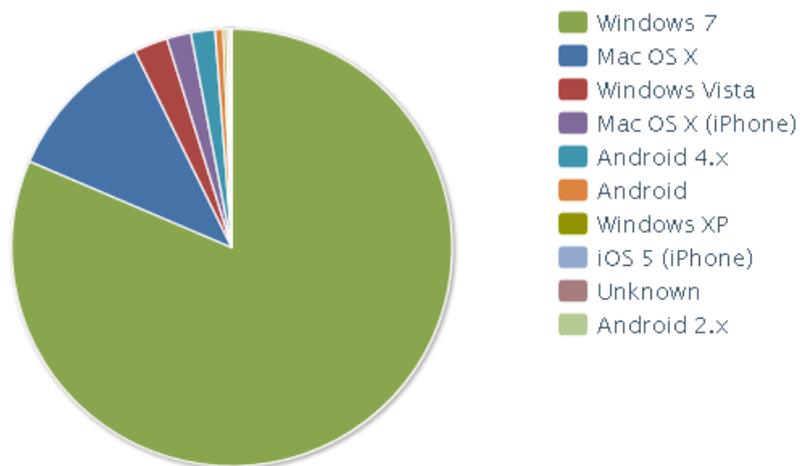
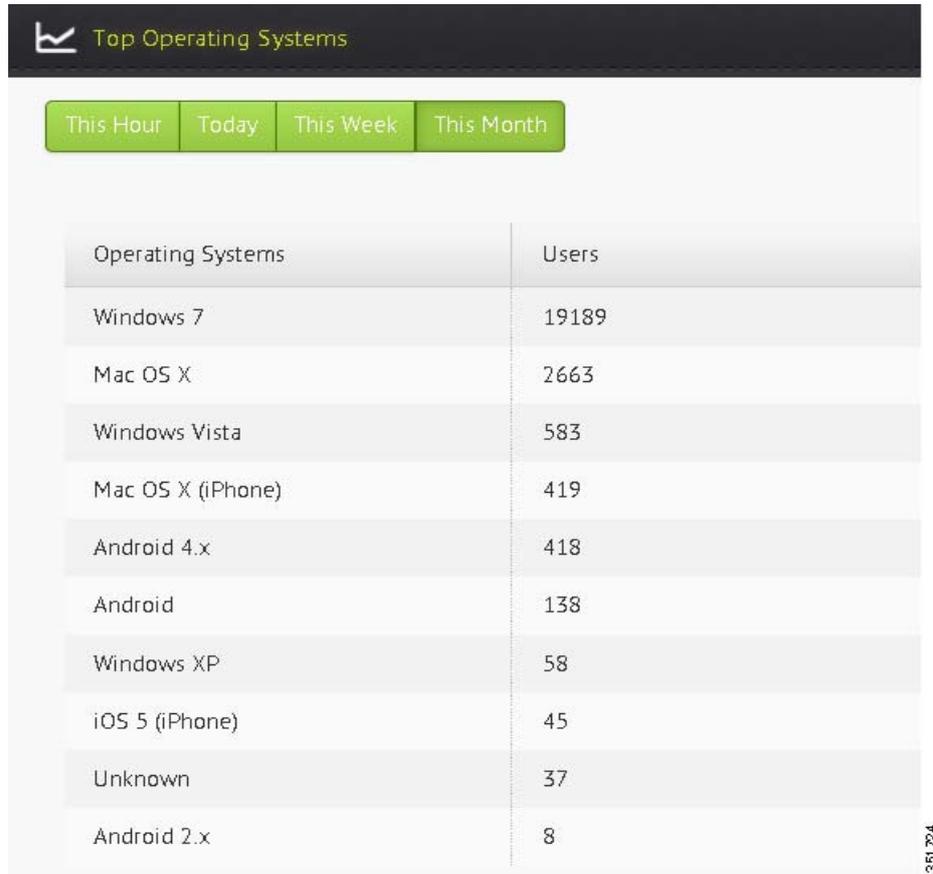


図 11-15 上位のオペレーティング システム





CMX ダッシュボードのビジター接続

Cisco CMX ビジター接続は Mobility Services Engine (MSE)、Cisco ワイヤレス LAN コントローラ (WLC)、および Lightweight アクセス ポイント (AP) に基づくゲスト アクセス ソリューションです。CMX ビジター接続は、ユーザがビジターに対してカスタム オンボーディング エクスペリエンスを作成することが可能なロケーション対応キャプティブ ポータルです。これはモバイルおよびラップトップの両方のユーザに最適なエクスペリエンスを提供するように設計されています。



(注)

ページの右上隅にある、CMX ダッシュボード内の [Make a wish] メニューをクリックしてフィードバックを提供してください。機能を無効にするには、Super Admin ロールから [Visitor Connect] 操作を除外します。

- 「[キャプティブ ポータルとしてのビジター接続](#)」 (P.11-1)
- 「[テンプレート フィールド](#)」 (P.11-8)
- 「[ソーシャル コネクタ](#)」 (P.11-9)
- 「[スプラッシュ テンプレート](#)」 (P.11-11)
- 「[ビジター接続のレポート](#)」 (P.11-13)

キャプティブ ポータルとしてのビジター接続

CMX ビジター接続は、直感的でシンプルなゲスト キャプティブ ポータルで、ゲストのオンボーディングが容易になります。ビジター接続はロケーション認識型で、異なるロケーションまたはゾーンで異なるスプラッシュ テンプレートを使用します。

CMX ビジター接続が機能するためには、施設のオーナーは、Prime Infrastructure UI の CMX ダッシュボード サービスを有効にする必要があります。

スプラッシュ ページでは、ビジター接続は次の内容のカスタマイズをのサポートします。

- ページの背景
- HTML テキストを使用したページのヘッダーとフッター
- ダイナミック入力フィールド
- 利用規約
- アドバタイズメント プラグイン
- Facebook、Linkedin および Google+ などのソーシャル認証プラグイン

施設のオーナーは、次の内容を実行できます。

- 複数のスプラッシュ テンプレートを作成し、それを関心のあるポイント (POI) に割り当てることで、より適したビジター エクスペリエンスを提供するためにロケーション固有のスプラッシュ ページとアドバタイズメントをカスタマイズする。たとえば、ビジターが飲食店街にいる場合、施設のオーナーは食品割引券を PR できます。また、ビジターの場所に応じて、スプラッシュ ページを現地の言語にすることができます。

施設のビジターは、次の手順を実行して、施設の Wi-Fi にアクセスできます。

- 名前、電話番号、電子メールなどの必要な情報を提供することにより、施設のオーナーの Wi-Fi に登録する。これは 1 回の登録になります。



(注) ビジター接続は、新しいユーザを繰り返しアクセスするユーザと区別し、繰り返しアクセスするユーザに対する登録ページをスキップします。

- 利用条件を受け入れる。
- (任意) 施設のオーナーによって事前に定義されているアドバタイズメントまたはアナウンスを参照する。
- (任意) ソーシャル認証ページにログインする。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[CMX ビジター接続の前提条件](#)」(P.11-2)。

CMX ビジター接続をセットアップするためのワークフロー

次の表に、CMX 分析システムをセットアップする際に従うべき手順を示します。

表 11-1 CMX ビジター接続をセットアップするためのプロセス

| プロセス | 説明 |
|--------------------------------------|---|
| 1. FlexConnect ACL の設定 | 詳細については、「 FlexConnect ACL の設定 」(P.11-3) を参照してください。 |
| 2. 認証用の WLAN の設定 | 詳細については、「 Web パススルー認証の WLAN の設定 」(P.11-4) を参照してください。 |
| 3. ソーシャル アプリケーションの認証 | 詳細については、「 ソーシャル アプリケーションの設定 」(P.11-7) を参照してください。 |
| 4. スプラッシュ テンプレート フィールドの作成 | 詳細については、「 スプラッシュ テンプレート フィールドの作成 」(P.11-9) を参照してください。 |
| 5. スプラッシュ ページの作成 | 詳細については、「 スプラッシュ テンプレートの作成 」(P.11-11) を参照してください。 |
| 6. 関心のあるポイントへのスプラッシュ ページ テンプレートの割り当て | 詳細については、「 関心のあるポイントまたはフロアへのスプラッシュ ページ テンプレートの割り当て 」(P.11-12) を参照してください。 |

CMX ビジター接続の前提条件

- 「[FlexConnect ACL の設定](#)」(P.11-3)
- 「[Web パススルー認証の WLAN の設定](#)」(P.11-4)
- 「[ソーシャル アプリケーションの設定](#)」(P.11-7)

- 「CMX ビジター接続の設定」(P.11-8)

FlexConnect ACL の設定

Flex モードの展開用にのみ FlexConnect ACL を設定します。FlexConnect ACL を設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** コントローラ UI から [Security] > [Access Control Lists] > [FlexConnect Access Control Lists] の順に選択します。
- [FlexConnect ACL] ページが表示されます。このページには、コントローラ上で設定したすべての FlexConnect ACL が一覧表示されます。このページには、対応するコントローラで作成した FlexConnect ACL も表示されます。ACL を削除するには、該当する ACL 名の横にある青のドロップダウン矢印の上にカーソルを移動し、[Remove] を選択します。
- ステップ 2** [New] をクリックして、新しい ACL を追加します。
- [Access Control Lists > New] ページが表示されます。
- ステップ 3** [Access Control List Name] テキスト ボックスに、新しい ACL の名前を入力します。最大 32 文字の英数字を入力できます。
- ステップ 4** [Apply] をクリックします。
- ステップ 5** [Access Control Lists] ページが再度表示されたら、新しい ACL の名前をクリックします。
- [Access Control Lists > Edit] ページが表示されたら、[Add New Rule] をクリックします。
- [Access Control Lists > Rules > New] ページが表示されます。
- ステップ 6** この ACL のルールを次のように設定します。
- コントローラは各 ACL について最大 64 のルールをサポートします。これらのルールは、1 から 64 の順にリストアップされます。[Sequence] テキスト ボックスで、値 (1 ~ 64) を入力し、この ACL に定義されている他のルールに対するこのルールの順番を決定します。
-  **(注)** ルール 1 ~ 4 がすでに定義されている場合にルール 29 を追加すると、これはルール 5 として追加されます。ルールのシーケンス番号を追加または変更した場合は、順序を維持するために他のルールのシーケンス番号が自動的に調整されます。たとえば、ルールのシーケンス番号を 7 から 5 に変更した場合、シーケンス番号 5 および 6 のルールはそれぞれ 6 および 7 へと自動的に番号が変更されます。
- [Source] ドロップダウン リストから次のオプションのいずれかを選択して、この ACL を適用するパケットの送信元を指定します。
 - [Any] : 任意の送信元 (これは、デフォルト値です)。
 - [IP Address] : 特定の送信元。このオプションを選択する場合は、該当するテキスト ボックスに送信元の IP アドレスとネットマスクを入力します。
 - [Destination] ドロップダウン リストから次のオプションのいずれかを選択して、この ACL を適用するパケットの宛先を指定します。
 - [Any] : 任意の宛先 (これはデフォルト値です)。
 - [IP Address] : 特定の宛先。このオプションを選択する場合は、テキスト ボックスに宛先の IP アドレスとネットマスクを入力します。
 - [Protocol] ドロップダウン リストから、この ACL に使用する IP パケットのプロトコル ID を選択します。使用できるプロトコル オプションは、次のとおりです。

- [Any] : 任意のプロトコル (これは、デフォルト値です)。
- [TCP]
- [UDP]
- [ICMP] : インターネット制御メッセージ プロトコル
- [ESP] : IP カプセル化セキュリティ ペイロード
- [AH] : 認証ヘッダー
- [GRE] : Generic Routing Encapsulation
- [IP-in-IP] : IP-in-IP パケットを許可または拒否します
- [Eth Over IP] : Ethernet-over-Internet プロトコル
- [OSPF] : Open Shortest Path First
- [Other] : その他の Internet Assigned Numbers Authority (IANA) プロトコル



(注) [Other] を選択する場合は、[Protocol] テキスト ボックスに目的のプロトコルの番号を入力します。使用可能なプロトコルのリストは IANA Web サイトで確認できます。

コントローラは ACL の IP パケットのみを許可または拒否できます。他のタイプのパケット (アドレス解決プロトコル (ARP) パケットなど) は指定できません。[TCP] または [UDP] を選択すると、[Source Port] および [Destination Port] の 2 つの追加のパラメータが表示されます。これらのパラメータを使用すれば、特定の送信元ポートと宛先ポート、またはポート範囲を選択することができます。ポート オプションは、ネットワークスタックとのデータ送受信をするアプリケーションによって使用されます。一部のポートは、Telnet、SSH、HTTP など特定のアプリケーション用に指定されています。

- e. [DSCP] ドロップダウン リストから次のオプションのいずれかを選択して、この ACL の Differentiated Service Code Point (DSCP) 値を指定します。[DSCP] は、インターネット上の QoS を定義するために使用できる IP ヘッダー テキスト ボックスです。
 - [Any] : 任意の DSCP (これは、デフォルト値です)
 - [Specific] : [DSCP] テキスト ボックスに入力する、0 ~ 63 の特定の DSCP
- f. [Action] ドロップダウン リストから、[Deny] を選択してこの ACL でパケットがブロックされるようにするか、[Permit] を選択してこの ACL でパケットが許可されるようにします。デフォルト値は [Deny] です。
- g. [Apply] をクリックします。
[Access Control Lists] > [Edit] ページが表示され、この ACL のルールが示されます。
- h. この ACL にさらにルールを追加するにはこの手順を繰り返します。

ステップ 7 [Save Configuration] をクリックします。

Web パススルー認証の WLAN の設定

顧客へのネットワーク アクセスを提供するために、Cisco ワイヤレス LAN コントローラ (WLC) 上に WLAN を設定する必要があります。これに対して、CMX ビジター接続用 WLAN のレイヤ 3 セキュリティに Web パススルーを設定する必要があります。

Web パススルー構成を設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** コントローラ UI から事前認証に対して ACL を定義して、MSE の IP アドレスへのトラフィックを許可し、WENAUTH_REQD 状態のときに DNS を解決できるようにします。他のすべてのトラフィックは、SSID に接続しているクライアントからブロックされます。ACL の設定の詳細については、『Cisco Wireless LAN Configuration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps12722/products_installation_and_configuration_guides_list.html

図 11-1 事前認証 ACL の設定

Access Control Lists > Edit

General

Access List Name: pre-auth-acl

Deny Counters: 0

| Seq | Action | Source IP/Mask | Destination IP/Mask | Protocol | Source Port | Dest Port | DSCP | Direction | Number of Hits |
|-----|--------|--------------------------------|--------------------------------|----------|-------------|-----------|------|-----------|----------------|
| 1 | Permit | 0.0.0.0 / 0.0.0.0 | 10.58.11.166 / 255.255.255.255 | Any | Any | Any | Any | Any | 0 |
| 2 | Permit | 10.58.11.166 / 255.255.255.255 | 0.0.0.0 / 0.0.0.0 | Any | Any | Any | Any | Any | 0 |
| 3 | Permit | 0.0.0.0 / 0.0.0.0 | 0.0.0.0 / 0.0.0.0 | UDP | Any | DNS | Any | Any | 0 |

- ステップ 2** [WLANs] を選択して、コントローラ UI から [WLANs] ページを開きます。
- ステップ 3** 必要な WLAN の ID 番号をクリックして、[WLANs > Edit] ページを開きます。
- ステップ 4** [Security] > [Layer 2] タブを選択します。
- ステップ 5** [Layer 2 Security] ドロップダウン リストから、[None] を選択します。
- ステップ 6** [Apply] をクリックします。

図 11-2 レイヤ 2 の設定



- ステップ 7** [Security] タブおよび [Layer 3] タブを選択して、[WLANs > Edit] ([Security] > [Layer 3]) ページを開きます。

図 11-3 Web パススルーの設定



ステップ 8 [Web Policy] チェックボックスをオンにします。

ステップ 9 事前認証 ACL を設定して、インターネットのほか、MSE および DNS 解決を除く他のネットワークにクライアントがアクセスすることを制限します。ユーザをコントローラ外部のサイトにリダイレクトするには、[Preauthentication ACL] ドロップダウン リストで設定された ACL を選択します。

アクセス コントロール リスト (ACL) とは、特定のインターフェイスへのアクセスを制限するために使用されるルール セットのことで、Web 認証用に事前認証 ACL を作成できます。事前認証 ACL を使用すると、認証が完了する前に、特定の種類のトラフィックを許可することができます。IPv4 および IPv6 のどちらもサポートされています。IPv6 ACL は、送信元、宛先、送信元ポート、宛先ポートなど、IPv4 ACL と同じオプションをサポートします。

事前認証に対して ACL を定義して、MSE の IP アドレスへのトラフィックを許可し、WENAUTH_REQD 状態のときに DNS を解決できるようにします。他のすべてのトラフィックは、SSID に接続しているクライアントからブロックされます。

事前認証 FlexConnect ACL は、フレックス モードでの展開に必要です。詳細については、「FlexConnect ACL の設定」(P.11-3) を参照してください。

ステップ 10 グローバル認証設定 Web 認証ページを無効にするには、[Over-ride Global Config] チェックボックスをオンにします。

ステップ 11 無線ゲスト ユーザ用の Web 認証ページを定義するには、[Web Auth Type] ドロップダウン リストから [External] を選択します。これは、認証のためにクライアントを外部サーバにリダイレクトします。このオプションを選択する場合、[URL] テキスト ボックスに外部サーバの URL も入力する必要があります。



(注) 外部リダイレクト URL は、ビジター接続のキャプティブ ポータル URL を指している必要があります。

ステップ 12 [URL] テキスト ボックスに、スプラッシュ ページの URL を入力します。たとえば、次のように入力できます。

`http://<MSE>:8083/visitor/login.do`

ステップ 13 [Apply] をクリックして、変更を確定します。

ステップ 14 [Save Configuration] をクリックして、変更を保存します。



(注) ビジター接続のリダイレクトには、IOS デバイスに対して WLC 上で特別な設定が必要になります。次のコマンドを使用して実行できます。Config network web-auth captive-bypass disable

ソーシャル アプリケーションの設定



(注) クライアント認証は、MSE にプライベート IP アドレスがあり、MSE の IP アドレスがソーシャル アプリケーション設定で使用されている場合に失敗します。問題を修正するには、MSE の DNS 名を割り当て、ソーシャル アプリケーション設定で、MSE の IP アドレスではなく、MSE の DNS 名を使用します。MSE の DNS 名がゲスト SSID 設定で外部ポータル URL として確実に使用されるようにします。

ソーシャル認証では、施設のオーナーが Facebook、LinkedIn、および Google+ などのソーシャル ネットワーク プロバイダーでアプリケーションを作成する必要があります。ソーシャル アプリケーションが作成されたら、ビジターを正常に認証するために CMX ビジター接続で必要となるアプリケーション ID と秘密キーを提供します。

ソーシャル アプリケーションの作成時に、施設のオーナーは次の情報を提供する必要があります。

- 認可されたリダイレクト URL : <http://<mse>:8083/visitor/social.do>
- Javascript API ドメイン : <http://<mse>>

ソーシャル アプリケーションの作成方法の詳細については、次のリソースを参照してください。

- Facebook アプリケーション ID と秘密キーについては、次の URL を参照してください。
<http://www.youtube.com/watch?v=orx7bhEBUP4>



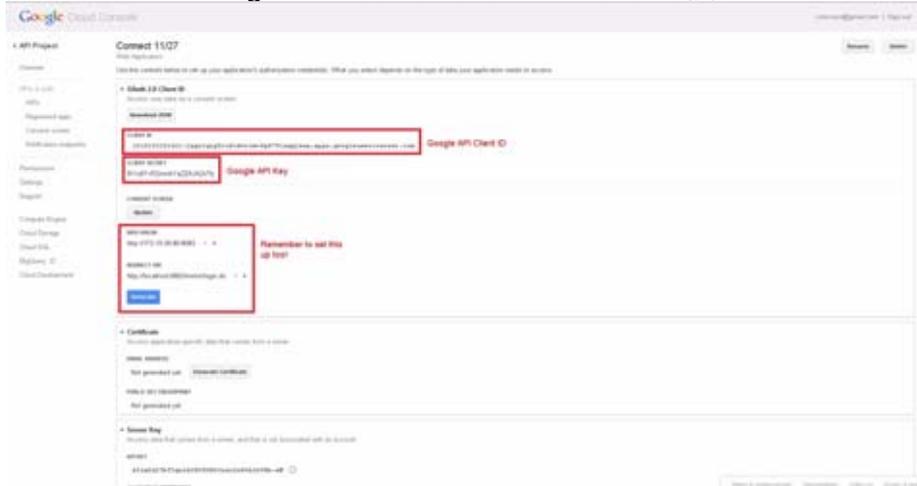
(注) Facebook アプリケーション ID と秘密キーの作成時に、[Facebook Developers] ページから [Sandbox Mode] を無効にします。

- LinkedIn API キーと秘密キーについては、次の URL を参照してください。
http://www.youtube.com/watch?v=_J2ejcxg6NQ
- Google+ クライアント ID と秘密キーについては、次の URL を参照してください。
<http://www.youtube.com/watch?v=o425vQXpigw>



(注) CMX ビジター接続のスプラッシュ テンプレートのセットアップに必要な API キーを取得するために、Google Cloud Storage JSON API を有効にする必要があります。これをアクティブにするには、[Services] タブの [Google Cloud Storage JSON API] の隣にある [Activate] をクリックします (図 11-4 を参照)。

図 11-4 Google+ 向けのソーシャル アプリケーションの設定



CMX ビジター接続の設定



(注) スーパー管理者のみが CMX ビジター接続にアクセスできます。

ビジター接続を設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから、[Settings] > [Roles] の順に選択します。
- ステップ 2** [Super Admin] をクリックします。
[Select Operations] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** [Existing Operations] フィールドでビジター接続が使用できることを確認します。このフィールドが使用可能でない場合、[Visitor Connect] をクリックして、[Available Operations] フィールドから強調表示して、[>>] (追加) を選択します。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。

テンプレート フィールド

[Template Fields] を使用して、さまざまなユーザ入力フィールドのほか、電子メール ID、名前、電話番号などのテンプレートのフィールドを作成できます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[スプラッシュ テンプレート フィールドの作成](#)」 (P.11-9)
- 「[スプラッシュ テンプレート フィールドの編集](#)」 (P.11-9)
- 「[スプラッシュ テンプレート フィールドの削除](#)」 (P.11-9)

スプラッシュ テンプレート フィールドの作成

スプラッシュ テンプレート フィールドを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから、[Visitor Connect] > [Splash Templates] の順に選択します。
 - ステップ 2** [Create New Splash Template Field] をクリックします。
 - ステップ 3** [Name] テキスト ボックスに作成するフィールドの名前を入力します。
 - ステップ 4** フィールド タイプを選択します。[Text] および [List]
 - ステップ 5** [Submit] をクリックして変更内容を適用するか、または [Cancel] をクリックしてフィールドの作成を廃棄します。
- [Splash Template Fields] グループ ボックスに、新しく追加されたフィールドが表示されます。

スプラッシュ テンプレート フィールドの編集

スプラッシュ テンプレート フィールドを編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから、[Visitor Connect] > [Template Fields] の順に選択します。
- ステップ 2** [Splash Template Fields] グループ ボックスで編集するフィールドを強調表示し、[Edit] をクリックします。
- ステップ 3** [Add/Edit Splash Template Field] グループ ボックスで必要な変更を行い、[Submit] をクリックします。

スプラッシュ テンプレート フィールドの削除

スプラッシュ テンプレート フィールドを削除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから、[Visitor Connect] > [Template Fields] の順に選択します。
- ステップ 2** [Splash Template Fields] グループ ボックスで削除するフィールドを強調表示し、[Delete] をクリックします。
- ステップ 3** [OK] をクリックして [Delete Confirmation] グループ ボックスの削除を確定するか、キャンセルして変更を加えずにページを閉じます。

ソーシャルコネクタ

ビジター接続を使用すると、施設のオーナーはソーシャル ネットワーク認証を使用して、顧客に Wi-Fi アクセスを提供することができます。これには、施設のオーナーが Facebook、Google+、LinkedIn などのソーシャル ネットワーク サイトでアプリケーションを作成する必要があります。詳細については、[ソーシャル アプリケーションの設定](#)を参照してください。



(注)

ソーシャル コネクタを作成するために、Facebook、Google+、および LinkedIn のサイトを使用できます。ビジターはこれらのコネクタのどれかに対するクレデンシアルを使用できます。

- 「ソーシャル コネクタの設定」(P.11-10)
- 「ソーシャル コネクタの編集」(P.11-10)
- 「ソーシャル コネクタの削除」(P.11-10)

ソーシャル コネクタの設定

ソーシャル コネクタ メニューを使用して、複数のソーシャル コネクタを作成できます。ソーシャル コネクタを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから、[Visitor Connect] > [Social Connector] の順に選択します。
- ステップ 2** [Create New Social Connector] をクリックします。
[Add/Edit Social Connectors] グループ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** [Connector Name] テキスト ボックスに、ソーシャル コネクタ名を入力します。最大 10 個のソーシャル コネクタを作成できます。
- ステップ 4** [Account] ドロップダウン リストから、アカウントを選択します。
- ステップ 5** [Facebook APP ID] テキスト ボックスで Facebook アプリケーションを作成した後で、受信した Facebook APP ID を入力します。
- ステップ 6** [Linkedin API Key] テキスト ボックスで受信した LinkedIn API ID を入力します。
- ステップ 7** [Google API Client ID] テキスト ボックスに Google クライアント ID を入力します。
- ステップ 8** [Google API Key] テキスト ボックスに Google API キーを入力します。
- ステップ 9** [Submit] をクリックします。

ソーシャル コネクタの編集

ソーシャル コネクタを編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから、[Visitor Connect] > [Social Connector] の順に選択します。
- ステップ 2** [Social Connectors] グループ ボックスのソーシャル コネクタ エントリをクリックして強調表示し、[Edit] をクリックします。
- ステップ 3** [Add/Edit Social Connectors] グループ ボックスで必要な変更を行い、[Submit] をクリックします。

ソーシャル コネクタの削除

ソーシャル コネクタを削除するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから、[Visitor Connect] > [Social Connector] の順に選択します。
 - ステップ 2 [Social Connectors] グループ ボックスのソーシャル コネクタ エントリをクリックして強調表示し、[Delete] をクリックします。
 - ステップ 3 [OK] をクリックして削除を確定するか、キャンセルして変更を加えずにページを閉じます。
-

スプラッシュ テンプレート

異なるロケーションまたはゾーンを扱うために、ロケーション認識のスプラッシュ テンプレートを作成できます。複数のスプラッシュ テンプレートを作成し、それをさまざまな関心のあるポイントに割り当てることができます。

- 「スプラッシュ テンプレートの作成」(P.11-11)
- 「関心のあるポイントまたはフロアへのスプラッシュ ページ テンプレートの割り当て」(P.11-12)

スプラッシュ テンプレートの作成

スプラッシュ テンプレートを作成するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから、[Visitor Connect] > [Template Fields] の順に選択します。
 - ステップ 2 [Create New Splash Template] をクリックします。
[Add/Edit Splash Template] ウィザードが表示されます。
 - ステップ 3 [Template Name] テキストに、スプラッシュ ページの名前を入力します。
 - ステップ 4 [Template Background] ドロップダウン リストから、スプラッシュ ページの事前定義された背景を選択します。好みの背景を設定するには、[Template Background] ドロップリストから [Custom] を選択し、[Click to upload an image] をクリックして、スプラッシュ ページの背景のイメージをアップロードします。
 - ステップ 5 [Form Fields] リストから、スプラッシュ ページに含めるフィールドを選択します。これらは、[Splash Template Fields] メニューを使用して作成したフィールドです。
 - ステップ 6 [Form Fields] リストで選択したスプラッシュ フィールドの詳細を入力します。[List] のテンプレート フィールドタイプには、提供する選択肢のリストを入力します。
 - ステップ 7 [Terms and Conditions] テキスト ボックスに、スプラッシュ ページを表示する利用条件を入力します。
 - ステップ 8 [Header] テキスト ボックスに、顧客向けのようこそメッセージを入力します。たとえば「XYZ ショッピング センターへようこそ」と入力できます。
 - ステップ 9 [Footer] テキスト ボックスに、免責事項を入力できます。たとえば、「これは補足的な Wi-Fi ネットワークで、データは保存されません」と入力できます。
 - ステップ 10 [Next] をクリックして、スプラッシュ ページに表示するアドバタイズメントを入力します。
 - ステップ 11 [Ad Script] テキスト ボックスに、アドバタイズメントのサーバまたはスタティック HTML ページ、または動画グラフィックスを使用した HTML ページを指す html スクリプトを入力します。

次の内容は、YouTube の URL を指すアドバタイズメント設定の例です。<iframe width="853" height="480" src="//www.youtube.com/embed/uIDx3eUZ-vw" frameborder="0" allowfullscreen></iframe>



(注) アドバタイズメントは、任意です。アドバタイズメントで URL を指定しなければ、ゲストのオンボーディング時にアドバタイズメント ページがスキップされます。

ステップ 12 [Next] をクリックして、ビジターのログイン用のソーシャル認証を設定します。



(注) ソーシャル認証は、任意です。ソーシャル コネクタを選ばなければ、ゲストのオンボーディング時に [Social Authentication] ページがスキップされます。

ステップ 13 [Header] テキスト ボックスに、ソーシャル認証ページで表示する情報を入力します。たとえば、「おめでとうございます。XYZ 社の Wi-Fi ネットワークにいらっしゃいます」と入力できます。

ステップ 14 [Social Connector] ドロップダウン リストから、ソーシャル コネクタを選択します。これは、[Visitor Connect] > [Social Connectors] で作成したコネクタのリストです。

ステップ 15 [Social Auth] チェックボックスから該当する認証タイプを選択します。

ステップ 16 [Footer] テキスト ボックスに情報を入力します。

ステップ 17 [Submit] をクリックします。

関心のあるポイントまたはフロアへのスプラッシュ ページ テンプレートの割り当て

特定のスプラッシュ ページ テンプレートを関心のあるポイントまたはフロアに割り当てることができます。これによって、施設のオーナーは顧客に「ロケーションを意識した」ネットワーク アクセスを提供できます。

フロアにスプラッシュ ページ テンプレートを割り当てするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 左側のサイドバーのメニューから [Points of Interest] を選択します。

ステップ 2 右側のペインで、[PointOfInterests] > [System Campus] > [desired Building] > [desired Floor] を選択します。



(注) ビルディングにスプラッシュ テンプレートを割り当てると、そのビルディングに定義されているすべてのフロアがスプラッシュ テンプレートを継承します。ビルディングとフロアの両方で定義したスプラッシュ テンプレートがある場合、フロア スプラッシュ テンプレートが使用されます。

ステップ 3 [Edit Floor] をクリックします。

ステップ 4 [Splash Template] ドロップダウン リストから、スプラッシュ ページ テンプレートを選択します。

ステップ 5 [Submit] をクリックします。

ビジター接続のレポート

ビジターの詳細の監視

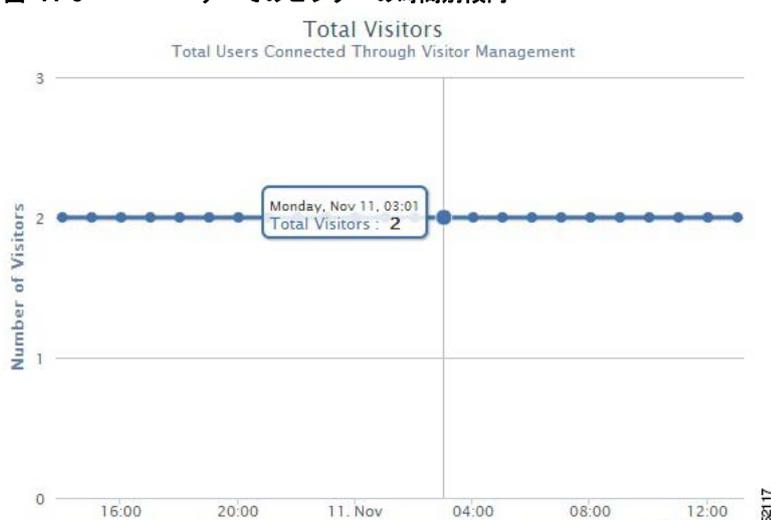
ビジターの詳細を監視するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のサイドバーのメニューから [Reports] を選択します。
[Services]、[Message]、および [Domain Metrics]、[Visitor Connect] タブが表示されます。
- ステップ 2** ビジターの詳細を監視するには、[Visitor Connect] をクリックします。
- ビジター接続で接続された新しいビジターおよびすべてのビジターの時間単位の傾向を表示するには、[Hourly] をクリックし、開始日時と終了日時を選択します。

図 11-5 新しいビジターの時間別傾向



図 11-6 すべてのビジターの時間別傾向



- 新しいビジターおよびすべてのビジターの日単位の傾向を表示するには、[Daily] をクリックし、開始日と終了日を選択します。

図 11-7 新しいビジターの日別傾向

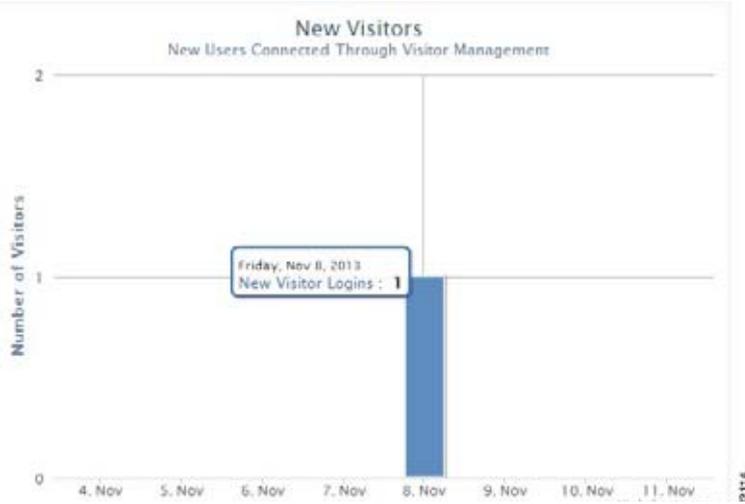


図 11-8 すべてのビジターの日別傾向



- 新しいビジターおよびすべてのビジターの週単位の傾向を表示するには、[Weekly] をクリックし、開始日と終了日を選択します。

図 11-9 新しいビジターの週別傾向

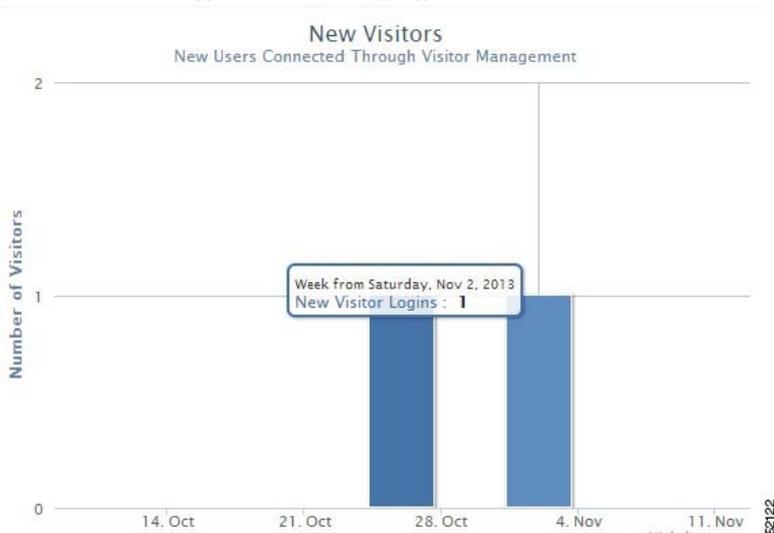


図 11-10 すべてのビジターの週別傾向



- 新しいビジターおよびすべてのビジターの月単位の傾向を表示するには、[Monthly] をクリックし、月を選択します。

図 11-11 新しいビジターの月別傾向

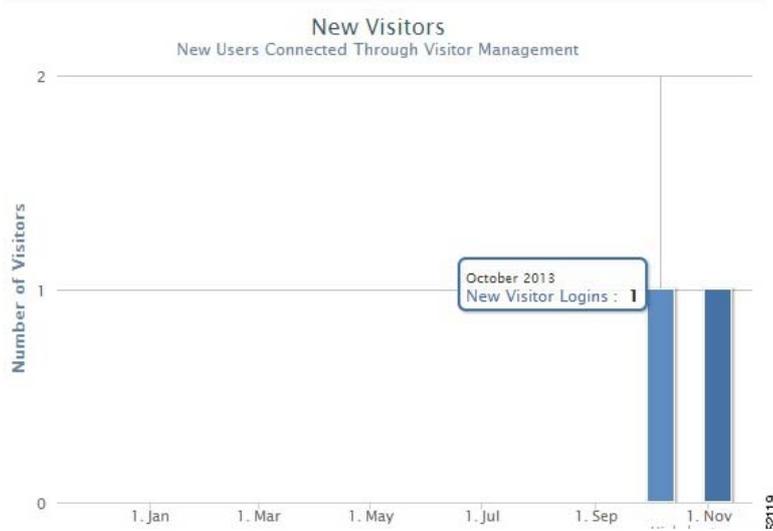
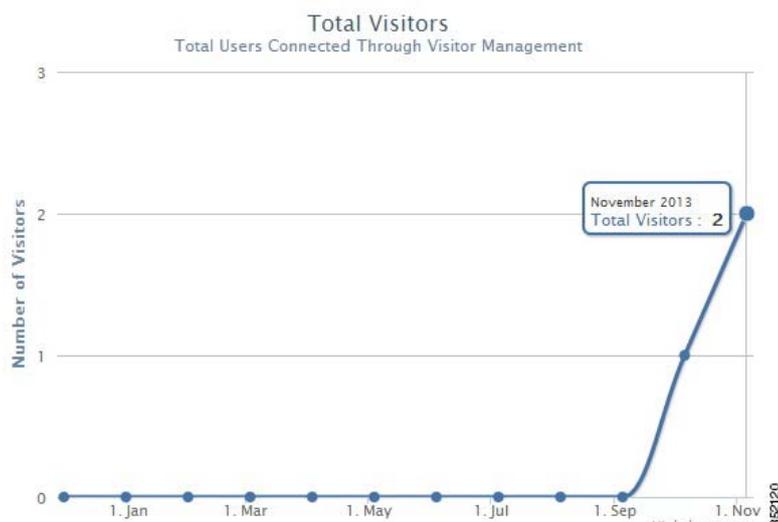


図 11-12 すべてのビジターの月別傾向



ステップ 3 ページの下部にある表は、スプラッシュ テンプレート設定に基づいたアクティブ ビジターに関する登録情報を示します。表のこの情報は、ソートおよびフィルタリングできます。

ステップ 4 [Export to CSV] をクリックして、ビジターの詳細をエクスポートします。



HTTP プロキシ

現在、CMX ダッシュボードでは、施設で顧客に付加価値サービスおよびメッセージを提供する HTTP トラフィック フローに頼っています。

CMX ダッシュボードの主要コンポーネントの 1 つがスクリプト挿入コンポーネントです。

ルータは HTTP トラフィックを代行受信し、CMX ダッシュボードによって HTTP トラフィックの最後にスクリプトが挿入されます。

HTTP プロキシは、Mobility Services Engine 上で有効です。

MSE 上の HTTP プロキシはポリシーベース ルーティング (PBR) を使用して代行受信されたすべての HTTP トラフィックを終端し、ワイヤレス クライアントの代わりにコンテンツを引き出すことでフォワード プロキシとして機能します。

HTTP フロー

次は、ワイヤレス クライアントから生成される HTTP トラフィックおよび各種コンポーネントのやりとりのフローです。

1. クライアントのブラウザが Web サーバへの HTTP 要求を作成します。ルータが代行受信してプロキシ サービスに転送します。
2. プロキシは前回の接続を終端し、Web サーバに対して別の接続を開きます。
3. プロキシは、CMX ダッシュボード サーバ IP およびクライアント IP を使用してスクリプト タグを挿入します。
4. プロキシは、代替の HTML ペイロードで応答します。
5. クライアントのブラウザがスクリプト タグを代行受信し、CMX ダッシュボード サーバに要求を送信します。
6. CMX ダッシュボード サーバは、Context Aware Service (CAS) サーバにクライアントのロケーションを問い合わせます。
7. CAS サーバがクライアントのロケーションで応答します。
8. CMX ダッシュボードは、ロケーションおよびキャンペーン情報を使用して、クライアントのブラウザでアドバタイズメントを実行します。

HTTP プロキシ サービス

次は、HTTP プロキシの重要な機能コンポーネントです。

- HTTP プロキシ サービス
 - これは次の機能のプロキシ サービスです。
 - 必要なエンド ユーザの HTTP 要求を受信します。
 - TCP スタックを終端します。
 - 戻す HTTP トラフィックにバナーを挿入します。
- リダイレクト ルータ

ルータはインターネットへ行くエンドユーザのトラフィックのデータ パスの中にあります。これは、エンドユーザの HTTP トラフィックを代行受信し、MSE HTTP プロキシ サービスにリダイレクト説明を変更します。

このリダイレクションは次のいずれかの役割を果たします。

- ポリシーベース ルーティング (PBR) : L2 レベルのアドレスで動作します。
- ハイエンドルータで使用できる L4 リダイレクト機能 : これは、L3 および L4 レベルのアドレスで動作します。(例 : ISG 機能付属 ASR1000)。



(注) 顧客の Wi-Fi デバイスは、HTTP プロキシの異なるサブネット上にある必要があります。

展開タイプ

次は、2 つタイプの MSE 導入です。

- MSE 集中型導入

この導入では、単一 MSE パッケージがあります。このソフトウェア パッケージでは、HTTP プロキシ サービスは MSE イメージの一部です。

- MSE フレックス導入

この導入では、MSE パッケージとクラウド コネクタ パッケージの 2 つのパッケージがあります。HTTP プロキシはクラウド コネクタ パッケージに含まれています。このソフトウェアは、UCS E シリーズのブレードを使用して ISR ルータに導入されます。

MSE の設定

Mobility Services Engine は、複数のモビリティ アプリケーションをホストするプラットフォームです。

CMX ダッシュボード ソリューションの最も簡単な導入モデルは、CMX ダッシュボード サブ サービスと CAS の両方を実行している PBR ルータおよび単一 MSE になります。

MSE フレームワークは、CMX ダッシュボード サービスの開始および停止をサポートします。デフォルトでは、プラットフォームおよびプロキシ サブ サービスのどちらもフレームワークによって開始されます。プロキシが MSE で実行されていない導入モデルでは、プロキシ サブ サービスを無効にできません。

L2 隣接ルータの PBR 代行受信を使用して MSE の HTTP プロキシ サービスを有効にでき、その後 MSE が HTTP データ トラフィックを受信します。ユーザが、管理トラフィックとデータ トラフィックを分離する可能性があります。



(注) プロキシを設定するには、PI の [Proxy Configuration] タブを使用します。プロキシ MSE と通信するために CMX ダッシュボード MSE IP を選択できるため、このプロキシが CMX ダッシュボード MSE からスクリプトを挿入できます。

MSE のコンソールでの DNS およびデフォルト ドメイン名の有効化

HTTP プロキシはプロキシ コンフィギュレーションファイルで設定する DNS およびドメイン名が必要です。プロキシのスタートアップスクリプトは MSE の Linux ホストからの値を使用します。これらの値は、MSE セットアップスクリプトによって設定できます。

コマンドは、次のとおりです。

```
/opt/mse/setup/setup.sh
```



(注) 設定されていない場合、MSE プロキシ サービスはデフォルト値を 8.8.8.8 の DNS に、デフォルト ドメイン名を `cisco.com` として使用します。



CMX クラウド コネクタ

シスコ サービス統合型ルータ (ISR G2) は、クラウド、マルチメディア アプリケーション、およびモバイル デバイス向けのサービス提供を変革するブランチ ルータです。ISR G2 ルータはマルチ サービスまたはサービス統合型ルータです。

このルータにはサービス モジュールを挿入可能で、その 1 つが UCSE (ユニファイド コンピューティング システム E シリーズ) です。UCSE サーバはブレード サーバです。これには x86 プロセッサがあり、VMware ESXI 5.1 などの仮想化環境を設定できます。これに、アプリケーションとオペレーティング システムをインストールできます。

ESXI で仮想マシンを実行できます。仮想マシンは、CMX ダッシュボードの場合はクラウド コネクタです。このコネクタは、CMX ダッシュボード クラウド コネクタと呼ばれます。

CMX ダッシュボード用の一元化された設定には MSE が含まれます。CMX ダッシュボード用の分散した設定では、MSE と ISR G2 ルータ間でデータを交換します。ISR G2 ルータは、CMX ダッシュボード コネクタとともに、クラウドで MSE と対話します。

CMX ダッシュボード コネクタは WAN トラフィックを代行受信し、HTTP 応答に Java 応答スクリプトを挿入し、そしてエンド ユーザに対するアドバイズメントおよびサービスに変換されます。

CMX ダッシュボード コネクタの前提条件

次は、CMX ダッシュボード コネクタを動作させるための前提条件です。

- IOS バージョン 15.3-M.0.2 およびこのリリース バージョンの次のリビルドを備えた ISR G2 ルータがあること。たとえば、15.3(3) M1 および 15.3(3)M2。



(注) OnePK をサポートする IOS バージョンが必要。

- VMware ESXI 5.1 とともに事前にインストールされている UCSE モジュールがあること。
- ISR ルータ内に設置した UCSE モジュールがあること。
- Cisco Integrated Management Controller (CIMC) GUI を通じて IP アドレスおよびネットワークなどの UCSE パラメータが設定されていること。
- VMware vSphere クライアントを介して UCSE モジュール上の ESXI にアクセスできること。



(注) CMX ダッシュボードをサポートする ISR G2 ルータはシリーズ 2911、2921、2951、3925、3945 です。

次は、UCS E シリーズのハードウェアの比較表です。

| パラメータ | UCS-E140S | UCS-E140D (P) /UCS-E160D (P) |
|------------|---|--|
| プロセッサ | Intel Xeon (サンディブリッジ) E3-1105C (1 GHz) | Intel Xeon (サンディブリッジ) E5-2428L (2 GHz) /E5-2418L (1.8 GHz) |
| コア | 4 | 4/6 |
| メモリ | 8 ~ 16 GB DDR3 1333MHz | 8 ~ 48 GB DDR3 1333MHz |
| ストレージ | 200 GB ~ 2 TB (2 HDD) SATA、SAS、SED、SSD | 200 GB ~ 3 TB (3 HDD*) SATA、SAS、SED、SSD |
| RAID | RAID 0 と RAID 1 | RAID 0、RAID 1 と RAID 5* |
| ネットワーク ポート | 内部 : 2 GE ポート 外部 : 1 GE ポート | 内部 : 2 GE ポート外部 : 2 GE ポート PCIE カード : 4 GE または 1 10 GE FCOE |

CMX ダッシュボード コネクタ

CMX ダッシュボード コネクタ ソフトウェアは単一の .ova ファイルで提供されます。Open Virtualization format は ESXI 5.1 上で動作します。

.ova ファイルはクラウド コネクタのホスト機能を行うために、Linux ベースのランタイム環境を提供します。この環境には、カーネルバージョン 2.6.32.46.cge (Montavista) を使用します。この環境は CMX ダッシュボード コネクタのみをホストします。これは、このコネクタのホスティング インフラストラクチャと共に提供されます。

この Linux ベースのコネクタのホスティング インフラストラクチャには、次の管理インターフェイスがあります。

- VSphere を使用する VGA (Video Graphics Array) コンソール
- SSH クライアントを使用する SSH
- Web ブラウザを使用する Web UI

初期設定

CMX ダッシュボードの .ova ファイルは、VMware vSphere Client を使用して ESXI の最上部に導入されます。ハイパーバイザを直接または vCenter を介して指定できます。次に、仮想マシンの VGA コンソールにアクセスできます。

次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** ルータに OnePK を設定するには、次のコマンドを使用します。
- ```
Re:
onep
datapath transport gre sender-id 1 interface Vlan1
transport type tcp
!
```
- ステップ 2** クレデンシャルを使用して VMware vSphere Client にログインします。CMX ダッシュボードの .ova ファイルが導入され、VGA コンソールにアクセスできます。
- ステップ 3** Linux ベースのコネクタのホスティング環境をインストールするには、[boot] に [install] を入力します。
- ステップ 4** 数秒後、システムの初期設定が行われます。管理ユーザ、ネットワーク設定、およびタイムゾーンなどのパラメータを構成できます。
- ステップ 5** シェル ユーザおよび管理インターフェイス ユーザのパスワードを設定します。
- 
-  **(注)** シェルで「setup」を発行して、設定したパラメータを変更するためにセットアップユーティリティを再実行できます。最初のネットワーク設定後、SSH クライアントを介してシェルにアクセスできます。
- 
- ステップ 6** [Configuration] タブに移動します。[Hardware] グループボックスの [Networking] を選択します。[vSwitch Properties] ボックスが表示されます。[VSwitch] を選択します。
- ステップ 7** [vSwitch] プロパティボックスで [MTU at 1700] を設定します。

## Web ベース管理 UI

ESXI ハイパーバイザの最上部への .ova ファイルのインストールによって C3 ホスティングコンポーネントが初期化されます。初期設定では、ホスティング環境、Linux のネットワーク、および Web ブラウザアクセスの設定があります。設定後、管理 Web UI がブラウザからアクセスできます。



- (注)** 初期設定時に指定した IP アドレスを使って https (ポート 443) を使用します。証明書のエラーは無視してください。公共で認識された証明書は提供されません。



- (注)** 管理 UI でサポートされている Google Chrome バージョンはバージョン 21 からバージョン 28 までです。サポートされるその他のブラウザは Internet Explorer および Mozilla Firefox です。

この UI で次を管理および設定できます。

- ホスティング インフラストラクチャ

- CMX ダッシュボード コネクタ
- HTTP プロキシ サービス

## CMX ダッシュボード コネクタの設定

Web UI には次の 3 種類のタブがあります。

- コネクタ
- HTTP プロキシ
- System Info

[About] タブで、[Cisco Cloud Connector Management] が表示されます。現在のリリース情報およびホスト名が表示されます。

## コネクタ

次の図にコネクタの設定を示します。

図 B-1 コネクタ設定-1

The screenshot shows a 'Connector Configuration' dialog box with the following content:

```

#-----
#
Copyright (c) 2013 by cisco Systems, Inc.
All rights reserved.
#-----

[cmx-server]
CMX Server ip address or hostname. [Mandatory: no default]
Example - server:oban-poc-01
server: oban-poc-01

CMX Server Port number [default 80]
Example - port:8080
port:8080

CMX Server URL Path [default Mario]

```

Below the configuration text, there is a 'Log level:' dropdown menu set to 'error'. At the bottom right, there are 'Save' and 'Cancel' buttons. A small number '351238' is visible in the bottom right corner of the dialog area.

図 B-2 コネクタ設定-2

```

CMX Server URL Path [default Mario]
Shouldn't start with "/" and end with "/" but can contain it in
between
Examples - "Mario", "service/v1/Mario"
path:"service/v1/Mario"

[cmx]
Domain white list (regex) to apply CMX feature. [default NULL]
If left blank, all domains will be processed.
Example - domains: .*\.ebay\.com, .*\.edu, .*\.cisco\.
domains:

Domain black list (regex) to skip CMX feature [default NULL]
Excluded domains are skipped even if "domains" filter matches.
Example - excludedDomains: .*\.google\.com, my\..*\.com
excludedDomains:

```

Log level:

Save Cancel

351239

CMX ダッシュボード コネクタを設定するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** Web ブラウザを介して管理 UI にログインします。[Connectors] タブをクリックします。CMX ダッシュボード コネクタは、デフォルトで導入済みの状態になります。
  - ステップ 2** コネクタを設定する前に、HTTP プロキシを設定します。「付録 A : HTTP プロキシ」を参照してください。
  - ステップ 3** CMX ダッシュボード コネクタを開始するには、[Start] をクリックします。
  - ステップ 4** CMX ダッシュボード サーバを設定するには、[Configuration] をクリックします。
  - ステップ 5** CMX サーバの IP アドレスまたはホスト名にサーバの詳細を入力します。たとえば、サーバは server:oban-poc-01 とできます。
  - ステップ 6** CMX サーバ ポート番号にポートの詳細を入力します。  
CMX サーバ URL パスに URL のパス、デフォルトは「Mario」です。
-  **(注)** 先頭または末尾に「/」を付けて URL パスを入力しないでください。
- 
- ステップ 7** ドメイン ホワイト リストに、CMX ダッシュボード機能を表示するドメインの名前を入力します。ドメイン名を指定しないと、すべてのドメインが処理されます。たとえば、含まれるドメイン名が \*\.ebay\.com、\*\.cisco\.com になります可能性があります。
  - ステップ 8** ドメイン ブラック リストに、CMX ダッシュボード機能を表示しないドメインの名前を入力します。除外されたドメインは「ドメイン」フィルタが一致していても回避されます。たとえば、除外されたドメイン名が \*\.google\.com、\*\.my\.com の場合があります
  - ステップ 9** [Content Type Filter] に、テキストまたは HTML を入力します。
  - ステップ 10** URL のホワイト リストに、CMX ダッシュボード機能を表示する URL を入力します。
  - ステップ 11** [Log level] ドロップダウン リストから、CMX ダッシュボード コネクタのログのレベルを選択します。



(注) [Connectors] タブからログを表示してダウンロードできます。[Show Log] をクリックし、次に [Connectors logs] ボックスの [Download] をクリックします。

C3 ホスティング コンポーネントを確認するには、以下が debug コマンドです。

```
isr-3945-zs# show onep datapath
VM Tport State Prt/Eth Misordered packets
1 GRE up
 Local-addr: 192.0.2.1 0x8921 1
 Remote-addr: 198.51.100.1 0x8921 0
isr-3945-zs#
```

## HTTP プロキシ

HTTP プロキシおよび OnePK を設定するには、[HTTP Proxy] をクリックします。

[Router OnePK Settings] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- ステップ 1 VM ホストの IPv4 アドレスを入力します。
- ステップ 2 ルータにユーザ名とパスワードを入力します。  
プロキシフィルタ ポートには、[Connectors] タブで入力したポートの詳細があります。
- ステップ 3 [Intercept Interface(s)] に、トラフィックを代行受信するためのインターフェイスの詳細を入力します。



(注) インターフェイスはギガビットイーサネットインターフェイスです。トラフィックは外部に行くので、このインターフェイスは発信インターフェイスです。

- ステップ 4 WAN 側でトラフィックを代行受信するには、[Connected to] ドロップダウン リストから [WAN] を選択します。LAN 側でトラフィックを代行受信するには、[Connected to] ドロップダウン リストから [LAN] を選択します。
- ステップ 5 [Log Level] ドロップダウン リストから、ログのレベルを選択します。[Apply] をクリックします。



(注) 設定パラメータを再構成する場合、[Reset] をクリックします。

図 B-3 HTTP プロキシ

[HTTP Proxy Status] グループ ボックスで、OnePK 接続の状態が接続済みになります。プロキシ デーモンの状態が実行中に変化します。



(注) 設定を再ロードするには、[Refresh] をクリックします。

強制再起動回数を表示できます。

また、変換一致、完了した変換の回数をスキップされた変換の回数と一緒に表示できます。HTTP トラフィックが開始されると、これらの回数が増加します。



(注) HTTP プロキシ情報は自動的にリロードされません。最新の情報を表示するには、[Refresh] をクリックします。

## システム情報

システム全体のパフォーマンスをモニタしシステム パラメータの詳細を表示するには、[System Info] タブをクリックします。

[VM Host Info] ペインに次の詳細情報が表示されます。

- ホスト名
- 稼働時間
- システム時間
- ソフトウェア バージョン

ホスト情報は自動的にリロードされません。最新の情報を表示するには、[Refresh Stats] をクリックします。

[VM CPU & Processes] ペインに次の詳細情報が表示されます。

- Intel プロセッサの詳細
- CPU 使用率
- プロセス

**ステップ 1** 現在実行中のプロセスを表示するには、[Inspect] をクリックします。

[VM Memory] ペインには、使用中および使用可能なメモリのサイズが表示されます。[VM Storage] ペインには、使用中のスペースの詳細が表示されます。宛先の IP アドレスおよびマスクが [VM Ip v4 routing] ペインに表示されます。

VM DNS および NTP 設定には、ドメイン、ネーム サーバ、および NTP サーバが表示されます。

**ステップ 2** [VM Logs] ペインには、システムの現在のログ レベルが表示されます。ログ レベルを変更するには、[Current log level] ドロップダウン リストからログのタイプを選択し、[Change] をクリックします。

**ステップ 3** ログ名、ログ サイズ、および表示オプションは表で表示されます。ダウンロードして保存するログに対して、[download] をクリックします。

**ステップ 4** システムのパフォーマンスの問題が発生した場合は、問題の情報をを使用してシスコのテクニカル サポートにお問い合わせください。不具合のスナップショットを生成するには、[Generate snapshot file] をクリックします。ファイルを保存するには、[download] をクリックします。



(注) 古い不具合のスナップショット ファイルを削除するには、[X] をクリックします。スナップショット ファイルのリストをリロードするには、[Refresh List] をクリックします。

**ステップ 5** システムがクラッシュした場合、コア ファイルが生成されます。コア名のペインに、コア ファイルのリストが表示されます。コア ファイルを保存するには、[download] をクリックします。



(注) 古いクラッシュのコア ファイルを削除するには、[X] をクリックします。コア ファイルのリストをリロードするには、[Refresh List] をクリックします。

[VM Interfaces] ペインには、次の情報が表示されます。

- ネットワーク インターフェイスのリスト
- 受信したデータ パケット
- 転送されるデータ パケット

**ステップ 6** 管理 UI からログアウトするには、[Log Out] をクリックします。



---

## C

CMX ダッシュボード [1-3](#)

---

## M

Make a Wish [9-8](#)

Mobility Services Engine [2-1](#)

---

## W

Web バナー [7-1](#)

---

## あ

アカウント管理 [3-1](#)

アカウントの作成 [3-1](#)

アドバタイズメント [6-4](#)

---

## う

ウェルカム メッセージ [6-1](#)

---

## お

オファー メッセージ [6-3](#)

---

## き

キャプティブ ポータル [11-1](#)

キャンペーン管理 [7-1](#)

キャンペーンにバナー [7-2](#)

キャンペーンの作成 [7-1](#)

---

興味のあるポイント [4-1](#)

興味のあるポイントの追加 [4-1](#)

---

## と

ドメイン [3-3](#)

---

## な

ナビゲーション管理 [5-1](#)

---

## は

ハイパーローカル検索 [8-1](#)

---

## ひ

ビジターの接続 [11-1](#)

---

## ふ

ブラウザ シミュレータ [9-1](#)

ブラウザのサポート [9-8](#)

分析とレポート [11-1](#)

---

## ま

マップ サービス [8-2](#)

---

## め

メッセージの管理 [6-1](#)

---

ろ

ロール [3-3](#)

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>